

事業報告書類

YSGG バンド

コラボ四街道まとめ

団体名	YSGG バンド
事業名	地域の絆づくりと仲間づくりを深める事業

事業部門	地域づくり部門
担当課・関係課	

事業内容	事業の詳細な内容（実施日、参加者数、会場、スケジュール等）や市、関係機関との役割分担や関わり等について記載。資料が多い場合は別途添付。			
	<p>①介護施設での音楽ボランティア活動・・客数 205 人 各介護施設において 40 分～1 時間程度童謡、懐メロ、演歌、フォークソングなど私達の演奏と皆さんの歌声で楽しくできました。時々、前に出て来てマイクで歌って頂きました。</p> <p>②障害者のレクリエーション支援活動・・客数 70 人 四街道公民館にてユニークダンスのバック音楽を演奏しながら障害者、車椅子の方々、健常者の方々と 1 時間 30 分程楽しむ会を支援いたしました。</p> <p>③老人会の訪問イベント・・客数 144 人 寿会、福寿大学、千代田 1 丁目老人会等を訪問して「みんなで歌おう会」を開催いたしました。</p> <p>④地域サロン音楽活動・・客数 426 人 やぎはらサロン、旭ヶ丘ひまわりサロン、いきいきサロン、ちょこっとサロン等において季節毎に訪問して演奏活動を行いました。</p> <p>⑤他団体とのコラボ活動・・客数 497 人 各サークル団体（四街道サンデー木工クラブ、ボランティアセンター、社会福祉協議会等）ボランティア団体交流会、秋のふれあい広場、新人歓迎会、などで音楽活動を披露しました。</p> <p>⑥子供達との演奏会・・客数 111 人 夏休みの小学生達とコラボして高齢者への音楽ボランティア活動を行いました。</p> <p>* 詳細は別添（令和元年度活動実績事業報告書）参照</p>			
事業内容変更	軽微なものを除き、当初予定していた事業の内容に変更があった場合は、その内容と理由を記載			
事業費総額	予算	653,086 円	決算	650,713 円
補助金額	予算	500,000 円	決算	500,000 円

<p>事業成果</p>	<p>事業実施した結果、得られた成果や効果を、数字等を交えて記載</p> <p>令和元年度（2019年）目標→結果</p> <p>①年間集客人数：1,310人→1,453人 大幅に達成</p> <p>②年間イベント回数：43回→37回 未達成</p> <p>③活動資金の確保：寄付金年間75,000円→77,000円 達成</p> <p>④構成員の増強目標7人から10人→10人 達成</p> <p>（地域全体への成果）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民に「思いやり、助け合い、支え合い」の精神が生まれたことで、子、親、高齢者、障害者など多世代間の交流が進み地域社会の連帯強化につながりました。</li> <li>・地域サロンの演奏会の訪問イベントにより住民の外出機会が増え、歌うことによる健康づくりと交流の場がより身近になりました。</li> <li>・参加者が、若い頃の思い出の歌でその時代にタイムスリップすることにより、脳が活性化され生活意欲や生きがいを見出す事ができました。</li> <li>・以上のことを通じて、地域の仲間づくり、見守り、生きがいづくり、絆づくりが実現しました。</li> </ul> <p>又、アンケートからお客様満足度が成果として確認できました。</p> <p>*別添「YSGG バンドアンケート集計」参照</p> <p>（他団体との連携）</p> <p>①市ボランティアセンター、みんなで地域づくりセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの集いの演奏参加</li> <li>・夏休みの子供達のボランティア活動体験企画に参加</li> <li>・ユニークダンスの集い、バック音楽の演奏で参加</li> </ul> <p>②社会福祉協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋のふれあい広場に演奏参加</li> <li>・5月、10月のやぎはらサロン演奏会参加</li> </ul> <p>③趣味のクラブ、同好会での訪問イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四街道走友会、四街道サンデー木工クラブ、八木原ゴルフ同好会等</li> </ul>
<p>事業の課題、担当課との関わり等</p>	<p>事業全体を通して、改善点や今後の課題、担当課との関わり等について記載。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供たちとの演奏会で使う楽器（パーカッション）の整備。</li> <li>・破損している古い機材の買い替え。</li> <li>・構成員を増やす。</li> <li>・更なる情報収集及びニーズの展開。</li> <li>・活動を継続させる資金源の確保。</li> </ul>

今後の事業展開	成果や課題等を踏まえた今後の事業展開について記載
	<p>&lt;子供たちとの演奏会で使う楽器の整備&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供たちが扱う楽器が十分ないので寄付金、助成金で購入整備する。</li> </ul> <p>&lt;破損している古い機材の買い替え&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寄付金や補助金等で新しい機材の購入。</li> </ul> <p>&lt;構成員を増やす&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くのニーズに対応するためにボランティアパーティーなどでシルバーの生きがいテーマにした募集チラシを配布する。</li> <li>・演奏会などで募集の声かけをする。</li> </ul> <p>&lt;更なる情報収集及びニーズの展開&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状、個人の口コミやボランティアセンターの紹介に頼っているがより多様な組織的情報ネットワークの活用を図る。</li> <li>・みんなで地域づくりセンターに、地域づくりの観点から、我々が役立てる事業とのつなぎ役をお願いする。</li> <li>・ボランティアセンターに、介護施設、ボランティア団体、各クラブからの依頼など情報提供をお願いする。</li> <li>・各サロン、老人会、地域自治会へバンドの活動紹介チラシを配布する。</li> </ul> <p>&lt;活動を継続させる資金源の確保&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問した団体にバンド継続の支援として寄付のお願いを書面で渡す。</li> <li>・リピーターを増やして支援者づくりを推進する。</li> </ul>

担当課のふりかえり	(                      課)

みんなで地域づくり推進委員会のコメント	
---------------------	--

[写真添付]  
別添参照



## みんなで地域づくり事業収支決算書

事業名	地域の絆づくりと仲間づくりを深める事業
団体名	YSGG バンド

[収入]

(単価:円)

項目	予算額	決算額	差額	具体的な内容
市補助金	500,000	500,000	0	
自己資金	78,086	73,216	-4,870	会費2000円×10人 参加費9回分31130円 自己資金
寄付金	75,000	77,497	2,497	(サロン、老人クラブ、コラボ団体等)
収入合計	653,086	650,713	-2,373	A(=D)

[支出]

(単価:円)

	項目	予算額	決算額	差額	具体的な内容
補助金対象経費	使用料	31,860	35,010	-3,150	年間11回分
	備品購入費	507,026	504,400	2,626	PAシステム一式(ミキサ-97200円 スピーカー-DBR10 41040円×2台) マイク(13824円×4本) スピーカースタンド(15120円×2本) スピーカーケーブル20m(13392円×1本)、 10m(9072円×1) マイクケーブル15m(12852円×2本)、 10m(10152円×2本)、7m(8532円×2本) 楽器用シールドケーブル10m(11340×2本) 7m(9720円×2本) ラインケーブル10m(10152円×2) 運搬台車(7180円×1台) マイクスタンド(3996円×4台) 譜面台4本5238円×4 接続ケーブル3本 (10800円×1本、1458円×2本) スピーカースタンドケース1個×2592円 スピーカーコンテナ2個×2480=4960円 PA用コンテナ2個×1780円=3560円 オーディオプレーヤー(37,800円×1台)
	消耗品費	32,000	30,787	1,213	コピー用紙×10束 2,807円 インク×29個 27,980円
	通信費	8,200	600	7,600	郵便120円×5通
	保険料	5,000	8,330	-3,330	機材保険
小計	584,086	579,127	4,959	B	
対象外経費	燃料費	25,000	17,050	7,950	ガソリン代
	食糧費	4,000	0	4,000	
	報酬費	25,000	30,000	-5,000	代表、事務局、会計、機材管理各報酬
	運搬費	0	15,234	-15,234	機材運搬
	事業費	15,000	0	15,000	
	消耗品費	0	8,654	-8,654	ケーブル結束バンド 6個 1,798円 マイクスタンド結束バンド 8個 748円 AC-DCアダプター1,380円 マイクケーブル10m×1本 2,678円 プラグ、テーブルタップ 814円 クリアホルダー、ふせん、マーカー 1,236円
手数料	0	648	-648	振込手数料	
小計	69,000	71,586	-2,586	C	
総予算	653,086	650,713	2,373	D(B+C)	

# 令和元年(2019年)実績写真

団体名 YSGGバンド

①介護施設での音楽ボランティア活動



②障害者のレクリエーション支援活動



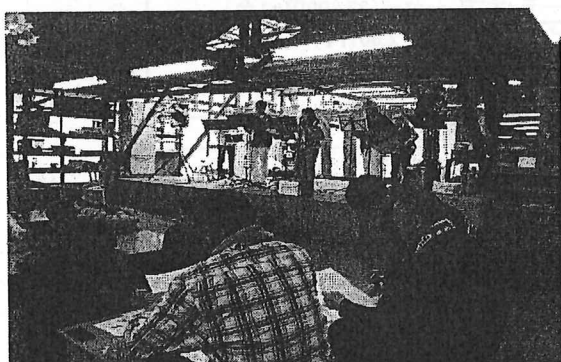
③老人会の訪問イベント



④地域サロンの音楽活動



⑤他団体とのコラボ活動



⑥子供達との演奏会



### 令和元年度活動実績(2019年度)

	開催日		客数	事業番号
1	4月7日(日)	四街道木工クラブ	80	⑤
2	4月17日(水)	もえぎサロン	20	④
3	4月21日(日)	かけはし	28	④
4	5月14日(火)	八木原サロンB(第17回)	19	④
5	5月28日(火)	八木原サロンA(第18回)	20	④
6	5月30日(木)	デイサービスセンターちとせ	39	①
7	6月19日(水)	もえぎサロン	15	④
8	6月20日(木)	千代田寿会	34	③
9	6月30日(日)	SGC古河スペースU	75	⑤
10	7月6日(土)	第69回ユニークダンス	70	②
11	7月11日(木)	千代田公民館福寿大学	80	③
12	7月12日(金)	千代田八木原ゴルフ同好会	30	⑤
13	7月16日(火)	デイサービスらいふりハ	35	①
14	7月22日(月)	NPO"ふきのとう"サロン,小学生ボランティア	30	⑥
15	7月30日(火)	八木原小学校自学塾音楽教室	15	⑥
16	8月6日(火)	特別養護老人ホームからたち	34	①
17	8月29日(木)	八木原小学校自学塾音楽教室	15	⑥
18	9月8日(日)	和良比西自治会敬老会	70	④
19	9月15日(日)	千代田5丁目自治会いきいきサロン	36	④
20	9月20日(金)	特別養護老人ホームはちす苑	30	①
21	9月29日(日)	HYSS駅伝パーティー	76	⑤
22	10月8日(火)	八木原サロンA(第19回)	20	④
23	10月17日(木)	千代田ちょこっとサロン	46	④
24	10月22日(火)	千代田1丁目老人会	30	③
25	10月26日(土)	グループホーム"ものいの家"	27	①
26	11月7日(木)	旭ヶ丘ぬくもりサロン	23	④
27	11月15日(金)	物井地区すみれ草サロン	32	④
28	11月18日(月)	八木原ゴルフ同好会パーティー	25	⑤
29	11月24日(日)	SGC古河スペースU	75	⑤
30	11月25日(月)	秋のふれあい広場	36	⑤
31	12月13日(金)	ニコニコ文庫サロン	17	④
32	12月16日(月)	NPO"ふきのとう"サロン	65	④
33	12月17日(火)	千代田ちょこっとサロン(子供達クリスマス会)	35	⑥
34	12月25日(水)	八木原小学校自学塾音楽教室	16	⑥
35	1月22日(水)	いやしのデイサービス大日	40	①
36	2月1日(土)	第23回ボランティアのつどい	100	⑤
37	2月3日(月)	うたごえサロン	15	④
		合計	1453	

目標客人数	1310
回数	43
実績客人数	1453
実績回数	37

事業番号	事業内容	客数(人)
①	介護施設での音楽ボランティア活動	205
②	障害者のレクリエーション支援活動	70
③	老人会の訪問イベント	144
④	地域サロンの音楽活動	426
⑤	他団体とのコラボ活動	497
⑥	子供たちとの演奏会	111



YSGGバンド全体アンケート集計表

開催日 1 会場名	9月15日 千早-いきいきサロン	9月8日 和泉比西自治会	7月11日 福寿大学	6月20日 寿会	5月28日 やぎはらA	5月14日 やぎはらB	4月21日 かけはし	4月7日 木エクラブ	割合%	コメント欄
2 集計数	27	44	72	30	15	15	22	48	273	100%
3 男性	6	22	21	7	5	3	13	40	117	43%
4 女性	20	22	50	21	9	15	6	8	151	55%
不明、白紙	1	0	1	2	1	1	3	0	9	3%
5 年齢										
30代以下	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1%
40代	0	0	0	0	0	0	0	5	5	2%
50代	0	0	0	0	0	0	0	6	6	2%
60代	6	4	3	0	0	0	1	18	32	12%
70代	14	23	55	5	4	2	12	15	130	48%
80代以上	7	17	13	25	11	13	6	2	94	35%
年齢、不明	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0%
計	27	44	72	30	15	15	19	48	270	100%
6 YSGGバンドご存知でしたか										
はい	16	6	48	26	11	12	17	27	163	61%
いいえ	11	38	24	4	4	2	2	21	106	39%
計	27	44	72	30	15	14	19	48	269	100%
不明	0	0	0	0	0	1	3			
7 「みんなで歌おう会」の形式はいいかでしたか										
満足	19	36	55	23	12	13	18	33	209	79%
普通	7	8	16	6	3	2	2	9	53	20%
不満	0	0	1	0	0	0	0	2	3	1%
計	26	44	72	29	15	15	20	44	265	100%
不明	1	0	0	1	0	0	2	4		
8 どんな曲を演奏して欲しいか										
童謡唱歌	15	13	27	13	4	3	2	6	83	19%
演歌	10	18	29	15	7	6	12	13	110	25%
懐メロ(流行歌)	13	33	44	24	6	8	12	24	164	37%
フオーグソング	6	6	38	8	1	3	4	17	83	19%
計	44	70	138	60	18	20	30	60	440	100%
9 次回参加しますか										
はい	25	34	69	26	13	11	18	35	231	98%
いいえ	1	10	1	2	1	2	1	13	31	13%
計	26	44	70	28	14	13	19	48	236	100%
不明	1	0	2	2	1	2	3	0		
10 次回は何曜日何時がいいですか										
日曜日	18	28	4	2	0	0	15	22	89	39%
土曜日	2	9	7	3	1	1	3	4	30	13%
平日	3	7	55	17	8	11	5	2	108	48%

事業報告書類

てとて ~つながる支援の輪~

## コラボ四街道まとめ

団体名	てとて～つながる支援の輪～
事業名	発達に課題を抱える子供へ理解と支援が出来る地域づくり

事業部門	地域づくり部門
担当課・関係課	障害者支援課

事業内容	<p>事業の詳細な内容（実施日、参加者数、会場、スケジュール等）や市、関係機関との役割分担や関わり等について記載。資料が多い場合は別途添付。</p> <p><b>父親の会の開催</b>          興味関心の有る方に対して、ご案内を配布していました。他の企画しているイベントの中で父親の方々と関わりを持ち、イベントの最中に父親の会を実施する場面が多かったです。  <b>【添付資料 1：発達に課題のある子供の保護者や支援者の皆様へ】</b></p> <p><b>「体験すること」を目的としたイベントの開催</b></p> <p><b>①料理教室</b>          開催場所はわろうべの里食のスタジオ。料理を通じて子供同士のコミュニケーション力を高めたり、工程や手順が重要になってくる料理の段取りを考えること、五感を使った刺激を感じる事などを目的として行いました。</p> <p>開催日と参加者（子供の参加者数）          10月20日 20名          1月19日 20名          2月16日 18名</p> <p><b>②ソフトラクロス教室</b>          開催場所は四街道総合公園内体育館で行いました。年間を通じて参加者を固定（25名）し、ソフトラクロスを通じてコミュニケーションスキルの向上を図りました。</p> <p>開催日と参加者（子供の参加者数）          4月20日 16名          7月6日 12名          8月31日 16名          9月29日 6名          2月15日 13名</p> <p><b>③イラスト教室</b>          開催場所はプレーパークどんぐりの森にて行いました。Morino Oto Festival のイベントに合わせ、竹で作ったアートとセロハンをステンドグラスに見立てたアートを組み合わせて展示する作品を子供と大人が一緒になって完成させました。</p> <p>開催日と参加者（子供の参加者数）</p>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



	10月5日 7名 10月19日 9名 10月26日 15名  ④農業体験教室 開催場所は稲坂なし園にて行いました。野菜の作付けから収穫までを行いました。また、敷地内ではカブトムシやクワガタなどが採集でき、子供たちの自然体験を同時に実施する運びとなりました。  開催日と参加者（子供の参加者数） 7月23日 8名 7月25日 5名 7月26日 2名 1月25日 8名  <u>専門家や有識者による講演会の開催</u>  ①9/1(日)わろうべの里わろうびんぐホールにて2部制の講演会を開催 1部は聖隷佐倉市民病院の小児科部長鈴木医師による「子供のアレルギーについて」、2部は淑徳大学の松浦俊弥教授による「インクルーシブって何だろう」という演目にて講演。参加者数は35名。詳細は添付資料2【9/1講演会報告書】を参照ください。  ②2/18(火)わろうべの里食のスタジオにて対象者を限定した「特別支援教育って何だろう？」という演題の講演会を開催しました。参加者数は11名。アンケートについては添付資料3【2/18講演会アンケート】を参照ください。  <u>活動記録や広告媒体としての動画撮影</u> 1年間の活動の様子を動画にてまとめ、ホームページに掲載しました。視聴は下記URLのホームページの方からご確認ください。 <a href="https://www.milestone-yotsukaido.jp/">https://www.milestone-yotsukaido.jp/</a>			
	<u>事業内容変更</u> 軽微なものを除き、当初予定していた事業の内容に変更があった場合は、その内容と理由を記載			
事業費総額	予算	574,810円	決算	445,398円
補助金額	予算	442,000円	決算	373,000円

事業成果	事業実施した結果、得られた成果や効果を、数字等を交えて記載			
	<u>父親の会の開催</u> 体験することを目的としたイベントに参加頂いた保護者の中で、母親だけではなく父親の参加も一定数みられました。各体験教室毎に参加される父親は異なっていましたが、その都度コミュニケーションを図り、継続した参加を促しました。 参加の回数が増えることで、自分の子どもや他人の子どもたちとのコミュニケーションも積極的に取れるようになった父親が増えました。5月には他人の子を見ることで、自分の子に対する接し方を見直そうという目的			

の下、バーベキューを開催し、子どもとの関わり方を談議しました。  
父親の会はイベントに参加していただいている父親と少しずつ関わりながら、正式な会合として実施していきたいと思ひます。

【添付資料1：発達に課題のある子供の保護者や支援者の皆様へ】

「体験すること」を目的としたイベントの開催

・料理教室

子供たちの五感を刺激したお料理教室を開催したいという想いで始めました。調理器具を危なっかしく使う子に対して、サポートしながら手伝う子。周りのやり方をジッと観察して、一人でやりきる子。お料理にすぐ飽きてしまい、別の遊びを始めてしまう子。子供たちの「やりたい」を尊重しながら、手順が重要な料理という作業を集団の中で遂行する。家庭での生活行動にも直ぐに反映出来ることもあり、参加者が多い人気の教室でした。

【活動実績】

10月20日 20名 わろうべの里

1月19日 20名 わろうべの里

2月16日 18名 わろうべの里

【添付資料4：2019年度活動報告書】

・ソフトラクロス教室

年間を通して固定メンバーにて実施した活動です。子供の年齢も年少～小学校高学年と幅広く参加して頂きました。講師は特別支援教育の現場に従事しているラクロス経験者を迎えました。子供たちは競技を通じて友達との関わり方、集団の中での自分の在り方などを学びました。できる子ができない子を支える。できない子ができる子に寄り添う。そのような場面が多く見られるようになってきました。

【活動実績】

4月20日 16名 総合公園体育館

7月6日 12名 総合公園体育館

8月31日 16名 総合公園体育館

9月29日 6名 総合公園体育館

2月15日 13名 総合公園体育館

【添付資料4：2019年度活動報告書】

・イラスト教室

プレーパークどんぐりの森の敷地内にて、竹を立てて竹道をつくる竹アート、セロハンをステンドグラスに見立てて切り絵を作るステンドグラスアート。アート教室では、Morino Oto Festivalの開催に合わせて、子供たちと展示物となるアートを作成しました。Morino Oto Festival開催日当日には、来場者がアートの製作に関わるなど、一般市民との交流の場にもなりました。絵本作家兼イラストレーターの講師を迎え、子供たちの独創的な感覚を惜しみなくアートに反映させて頂きました。

【活動実績】

10月5日 7名 どんぐりの森

10月19日 9名 どんぐりの森

10月26日 15名 どんぐりの森

【添付資料4：2019年度活動報告書】

・農業体験教室

カゴに入って売られてるカブトムシやクワガタでは無く、木の樹液を吸っている野生のそれを捕まえさせたい。スーパーや八百屋に売られているキレイな野菜では無く、土と泥で汚れた、青臭い葉っぱの匂いを振りまくそれを収穫させたい。自然体験教室では、子供たちに本物と触れ合う体験を多く企画しました。足場の悪い環境で、しっかりとバランスを取りながら作業する子供たちを見ることができました。

【活動実績】

7月23日 8名 稲坂なし園

7月25日 5名 稲坂なし園

7月26日 2名 稲坂なし園

1月25日 8名 稲坂なし園

【添付資料4：2019年度活動報告書】

専門家や有識者による講演会の開催

専門家による講演会を開催させて頂きました。9月1日に開催した講演会は2部制にて実施しました。第1部では聖隷佐倉市民病院の小児科医を講師として招き、子供のアレルギーに対してどのような対応や対策、関わり方が出来るのかを講演して頂きました。第2部では淑徳大学にて特別支援教育を指導されている教授を招いて、インクルーシブ教育とは何なのか？現在の子供を取り巻く教育環境の実態などを事例を多く挙げながら講演して頂きました。実際に現場の前線で活躍されているお二人の言葉は一つ一つが重みがあり、聞いている参加者の皆様もメモを取る手が止まることはありません。最後まで集中力が切れず充実した学びの場であったと思います。学んだ内容は、日常で意識することで直ぐに周囲へサポートが期待できる実践的な内容でした。講演会後のアンケート結果を集計したところ、非常に満足度が高く、次回開催を熱望される意見が多かったです。市民の一人一人が意識して行動することで、少しずつですが色々な境遇の子供たちが住みやすい街の形成に寄与出来るのではないかと期待しています。2/18に開催した講演会は、対象者を絞り、人数も少人数にて開催しました。特別支援教育に関心がある保護者だけに参加して頂き、講師の淑徳大学松浦教授に様々な現場の現況そして真実を伝えて頂きました。参加者の満足度や悩みの解消、将来への行動のきっかけに大きく貢献できたのではないかと思います。参加者アンケートには、感謝の意見が多く寄せられ、継続して開催する必要性を強く感じました。

【活動実績】

9月1日 34名 わろうべの里

2月18日 11名 わろうべの里

【添付資料2：9/1講演会報告書、資料3：2/18講演会アンケート、資料4：2019年度活動報告書、資料5：9/1講演会チラシ】

活動記録や広告媒体としての動画撮影



	<p>1年間の活動の様子を動画にてまとめ、ホームページに掲載しました。視聴は下記URLのホームページの方からご確認ください。  <a href="https://www.milestone-yotsukaido.jp/">https://www.milestone-yotsukaido.jp/</a></p>
事業の課題、担当課との関わり等	<p>事業全体を通して、改善点や今後の課題、担当課との関わり等について記載。</p> <p><b>【事業の課題】</b>  各イベントの参加者の募集の仕方を再考する必要があると感じました。本当に必要としている人に届けたい情報が、届けられないという事が多くあったように思います。市の広報や、教育機関を通じた情報の発信、病院や施設などからの情報発信も試みましたが、裾野を広く展開できたのに対して、情報を受け取る側に行動を促すためのキッカケを届けることが出来なかったと反省しています。対策としてはSNSを利用した発信、募りたい参加者が多く行き交っている場所、コミュニティ、メディアに積極的にアプローチして行きます。</p> <p>また、イベントを開催する場所の確保に労力を割いたので、事前の下調べやリスクヘッジのための保険として押さえる場所の選定をする必要があります。今年度は文化センターが改修工事のため使えなかった事が、想定外の出来事でした。</p> <p><b>【担当課との関わり】</b>  障害者支援課に足を運ぶ機会を逃しておりました。相談したいことは多々ありましたので、次年度以降は積極的に関わりを持てるよう意識して行動したいと思います。</p>

今後の事業展開	<p>成果や課題等を踏まえた今後の事業展開について記載</p> <p>本事業を開始し1年に渡って活動を行ってきた中で、当初の「発達に課題を抱える子供に対して、地域で理解や関心を深める」という目的や必要性を遂行する上で特に期待通りの効果や結果を出すことが出来た活動があります。それは「体験する事を目的としたイベントの開催」と「専門家や有識者による講演会の開催」です。</p> <p>始めに「体験する事を目的としたイベントの開催」に関して、発達に課題のある子やそうでない子が一緒になって様々なイベントを体験するという企画でした。具体的にはソフトラクロス教室、お料理教室、イラスト教室等があります。</p> <p>ソフトラクロス教室は年間を通して固定メンバーにて競技体験を行いました。ソフトラクロス教室の場を通して子供たち同士の関わり合い、親同士の関わり合い、そして自らの親・子以外との関わり合いが生まれました。その結果お互いの個性を認める・思いやる・寄り添うといった理解や関心を深める状況が実現し、掲げた目的を実現する非常に良い結果となりました。</p> <p>料理教室はソフトラクロス教室同様に多くの子供が参加しました。その中で発達に課題のある子や、人との関わり合い方に気になる点がある子等が参加していました。子供同士がお互いの関わり方を探りながら理解しながら料理を進めていたことが強く印象に残っています。</p> <p>また、イラスト教室は工作物を製作する体験教室として実施しました。こちらは竹を使った秘密基地を思わせる造作物と、セロハンと切り絵を合わせた掲示物を複合し、一つのアートとして「どんぐりの森」に展示されています。実施期間中は親子での共同作業、親同士、子供同士での共同作</p>
---------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>業が随所で行われました。出来る事出来ない事は人によって差がありますが、自分の出来る事をのびのびとアートとして表現する場所を設けた事。それをどんぐりの森で開催されたイベント「Morino Oto Festival」で展示し、多くの来場者に見てもらった事が当団体の活動を市民に認知してもらう結果となりました。</p> <p>その他に農業体験教室は7月と1月に実施しました。10月には芋掘り体験と芋を掘った後の畑で行うビーチフラッグを彷彿させるようなイベント、焼き芋などを企画していました。しかし多くの参加申込者があったにも関わらず、天候不良のため中止となりました。次年度では再度企画し開催したいと思います。</p> <p>次に「専門家や有識者による講演会の開催」を引き続き継続して実施したいと思います。1年目に実施した2部制の講演会は、参加者から次回開催を熱望される結果となりました。</p> <p>小児食物アレルギーに関しての小児科医の講演、インクルーシブ教育に関しての大学教授の講演でしたが、参加者の興味関心に強く共鳴する結果となりました。開催後の評価に関しては開催に対して感謝の意見も多く、強く次期開催を企画し実行して行きたいと思います。</p> <p>以上2点を今後も継続し、また内容をより発展的なものにして臨む所存です。1年目では必要な人に届けるという広報の部分で至らない点がありました。それを踏まえ、市内で開催される様々なイベントに一団体として、また他団体と協同し出店参加するなどして、より知ってもらうためのアクションを行動計画の中に組み込みます。そして1年目を経て感じた「必要性」をさらに次年度に繋げ発展させていきたいと思います。</p>
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

担当課のふりかえり	<p>(障害者支援課)</p> <p>発達に課題のある子ども達が、親と一緒に参加できる活動が定期的に行われ、子どもたちにとっても色々な体験の場が広がり、親にとっては、情報共有の場が創出されるなど充実した活動ぶりがうかがえました。</p> <p>当課としては、お子さんの発達のことで悩まれている方に「てとて〜つながる支援の輪〜」の活動を情報提供したり、講演会を主催されるときには、後援するなどの活動への支援ができます。</p>
-----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

みんなで地域づくり推進委員会のコメント	
---------------------	--

添付資料(7件)

- ・資料1 発達に課題のある子どもを抱える保護者・支援者の皆様へ
- ・資料2 9/1 講演会報告書
- ・資料3 2/18 講演会アンケート
- ・資料4 2019年度活動報告書
- ・資料5 9/1 講演会チラシ
- ・てとて団体案内
- ・ソフトラクロス教室チラシ

みんなで地域づくり事業収支決算書

事業名	発達に課題を抱える子供へ理解と支援が出来る地域づくり
団体名	てとて～つながる支援の輪～

【収入】

(単位：円)

項目	予算額	決算額	差額	具体的な内容
市補助金	442,000	373,000	△69,000	
参加費	132,000	71,500	△60,500	
自己負担金	810	898	88	
収入合計	574,810	445,398	△129,412	

【支出】

(単位：円)

項目	予算額	決算額	差額	具体的な内容
対象経費	81,330	35,120	46,210	<b>【講演会会場費】</b> 9/1 : 5,100 円 2/18 : 1,640 円 <b>【イベント会場費】</b> ソフトラクロス教室 4/20 : 1,680 円 7/6 : 1,680 円 8/31 : 920 円 9/29 : 1,680 円 2/15 : 1,680 円 お料理教室 10/20 : 1,640 円 1/19 : 2,460 円 2/16 : 1,640 円 イラスト教室 10/5 : 5,000 円 10/19 : 5,000 円 円 10/26 : 5,000 円
				<b>【活動報告書】</b> 300 部 = 7,990 円 <b>【講演会チラシ(市民向)】</b> 7/6 : 8,500 部 = 27,680 円 9/1 : 206 部 = 2,060 円 6/16 : 270 部 = 2,700 円 6/26 : 18 部 = 180 円



				【講演会チラシ(公共機関向)】 1/161,000 部=3,960 円
需用費	75,000	59,178	15,822	【消耗品費】 11/11 : 18,260 円(写真印刷代) 12/6 : 6,205 円(インクカートリッジ) 11/19,11/20 : 3,080 円(ステンボード) 11/19 : 440 円(画用紙) 7/13,8/4,8/15,8/20,8/30,10/2,10/4 : 16,587 円(文具) 【体験イベント料理教室材料費】 10/19,1/18,1/19,2/15,2/16 : 14,606 円
委託費	140,000	140,000	0	【WEB デザイン】 3/28 : 20,000 円 【イベントチラシデザイン】 1/12 : 20,000 円 【映像制作費】 3/31 : 100,000 円
保険料	5,480	5,480	0	【イベント損害保険】 4/26 : 5,480 円
旅費	12,500	1,904	10,596	【研修交通費】 四街道⇄八街 4/16 : 1,574 円 2/1 : 330 円
新聞図書費	22,000	22,146	△146	【専門書籍】 7/5 : 11,556 円 1/12 : 10,590 円
報償費	171,500	127,000	44,500	【講師謝礼金-1 松浦先生】 9/1,2/18:30,000x2 回=60,000 円 ※60,000 円の内、50,000 円を対象経費として計上。 【講師謝礼金-2 鈴木先生】

					<p>9/1:30,000x1 回=30,000 円</p> <p>【講師謝礼金(体験教室)】</p> <p>イラスト教室</p> <p>10/5,10/19,10/26</p> <p>5,000 円 x3 回=15,000 円</p> <p>お料理教室 10/20,1/19,2/26</p> <p>5,000 円 x3 回=15,000 円</p> <p>自然体験教室 7/22,1/15</p> <p>5,000 円 x2 回=10,000 円</p> <p>【有償ボランティア費】</p> <p>イラスト教室 10/5,10/19</p> <p>2,000 円 x3 人=6,000 円</p> <p>講演会 2/18</p> <p>500 円 x2 人=1,000 円</p>
	小計	564,810	435,398	129,412	
対象外経費	報償費	10,000	10,000	0	<p>【講師謝礼金 松浦先生】</p> <p>30,000 円 x2 回=60,000 円</p> <p>※60,000 円の内、10,000 円を 対象外経費として計上。</p>
	小計	10,000	10,000	0	
	支出合計	574,810	445,398	129,412	

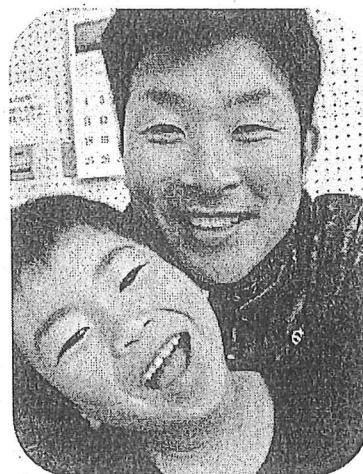
【資料1】

## 発達に課題のある子どもを抱える保護者・支援者の皆様へ

こんにちは。後藤裕紀(ごとうゆうき)です。  
この度は本チラシに目を通して頂きありがとうございます。

僕は地域の子供たち、特に「発達に課題のある子ども達」が過ごしやすい、生きやすい地域づくりを目標に、これから定期的な活動をしていこうと考えています。また、そのための原動力は父親のパワーが不可欠であるとも考えます。父親積極参加型の地域づくりを実現すべく簡単ではありますが、声明文として書かせて頂きました。

稚拙な文面ではありますが、最後までお読み頂き、よろしければ裏面の簡単なアンケートにご回答頂けると嬉しいです。  
それではどうぞ宜しくお願いします。



【 アメーバ ブログにて発信中！！ 】

《 後藤裕紀のブログ 》 で検索

【 市民団体 の代表をやっています！！ 】

《 てとて ~ つながる支援の輪 ~ 》

<http://www.facebook.com/tetote.yotsukaido/>

### ◆自己紹介

まずは僕の自己紹介をさせてください。

名前は後藤裕紀(ごとうゆうき)です。1981年生まれの37歳。

出身は秋田県です。高校まで秋田県で育ち、その後上京し大学へ進学しました。

今は都内の中小企業にて会社員をしています。四街道市には、2007年に転入し、今年で11年目になります。

家族構成は妻と三人の子供(小5の長男、小2の次男、年長の三男)になります。

### ◆三男は発達に課題のある子どもです

僕の三男は四街道市内の幼稚園に通っている年長さんです。正式に診断を下されてはいないのですが、「自閉症」という発達障害を抱えています。特に発語やコミュニケーション能力に関して、定型発達の子どもと比べると、発達の遅れが顕著です。

このように、僕は今、発達に課題のある子どもの父親をしています。今まで妻と迷いながらも二人三脚で育児をしてきました。無我夢中で育児をしていく中で、次第に発達に課題のある子どもをどのように育てていけばいいのか、地域としてどのように見守っていけばいいのか、という事を深く考えるようになってきたのです。

### ◆発達に課題のある子どもの理解者や支援者を増やしたい

発達に課題のある子どもを育てている保護者の皆様は、育児に関して言えば殆どの方が初心者としてスタートを切ったと思います。子どもの症状がわかりづらく、どこに相談したらよいかかわからない。インターネットや書籍等で情報を収集するにも、情報がありすぎて善し悪しの区別がつかない。また、安易に公言しづらいナイーブな問題でもあり、一人で抱え込んでしまったり。そのような経験をみなさんはお持ちではないでしょうか？そして、皆さんは通常の育児の何倍もの力を注いできたのではないのでしょうか？僕はその様な環境の中で育児をしてきた実体験を元に、もっと地域に理解者や支援者が増えたらいいなと願ってやみません。

【資料1】

◆母親中心の子育て

僕は今まで、妻と一緒に色々なコミュニティへの参加・運営等に関わってきました。主に子育てというジャンルにおいてです。その中で、母親のコミュニティはもう既にそこらかしこにありました。ただ、多くのコミュニティは母親だけの参加を謳っているわけではありません。でも母親だけの集まりになってしまっているのが現状です。父親だけが、子どもと母親が属しているコミュニティに繋がっていない気がしませんか？

例えば、学校や園の集まりがあったときに、周りの誰ともしやべらずに、居心地の悪そうにしている父親はいませんか？(僕もそうでした)

「こら、〇〇！こっちに来なさい」「そっちいっちゃだめでしょ！」などと、自分の子供を追い回すふりをしている父親はいませんか？(これも僕)

同じ障害を持っている子の家族が隣にいるのにもかかわらず、視線はあらぬ方向に固定されている父親はいませんか？(はい、僕です)

良く事情がわからない母子イベントに駆り出されて、ふと空を見上げると日が暮れかかっているあの虚しさ(僕が感じた事です)。そしてその日の夜、妻に、「今日△△さんいたでしょ？それで××さんがね・・・」と言われても「△△、××さん？そんな人知らない・・・」。このような経験のある父親はたくさんいらっしゃるかと思います。

◆父親だけの会(コミュニティ)を作りたい

地域で発達に課題のある子どもの保護者のネットワークは、今後多岐にわたって必要になっていくと思います。将来的に、経験者がOB・OGとなって地域の保護者の相談に乗れる環境を構築して行きたい。そこに母親側のネットワークだけでなく、父親側のネットワークも出来ていたら心強いと思いませんか？

そのためのスモールステップとして、まずはお茶でも飲みかわしながら、子供の事を話せる仲間を集めるところからスタートしたいと思っています。宜しければご興味のある父親の皆様、ご連絡をお待ちしております。

ここまで読んでいただきありがとうございました。

宜しければ下記アンケートの内容をご確認頂き、下記連絡先までメールにてご回答ください。

メールの件名は【アンケート回答】としてください。

【 **連絡先 tetote.yotsukaido@gmail.com** 】

- ① あなたは発達に課題のある子の保護者および支援者ですか？ 【はい】 もしくは 【いいえ】
- ② ①で「はい」とお答えいただいた方に質問です。差し支えなければお子様の症名と年齢をご回答ください。
- ③ 「(仮称)父親だけの会」に興味がある方はメールにて 【参加を検討します】 とご回答ください。

ご案内をメールにて送らせて頂きます。

会の内容を確認してから参加の可否を決めたい方、ご主人様を参加させたい奥様、発達に課題がある子の父親と関わってみたい方、是非ご連絡をお待ちしております。

【資料2】

# イベント報告書

2019 年 9 月 3 日

団体名	てとて～つながる支援の輪～	氏名	代表 後藤 裕紀
-----	---------------	----	----------

## (1) 概要

名称	～子育て世代のための～ 知って活かそう 共育セミナー
日程	2019年9月1日 13:00～16:30
場所	四街道市南部総合福祉センターわろうべの里 わろうびんぐホール
概要	発達に課題を抱える子供やアレルギーを抱える子供を理解する手段として、専門家の講演会を開き家庭教育に資する。
目的	子どもの病気や障害に関する専門的な知識と経験を持った専門家が、市民に講演会という形で直接に情報を発信します。学んだ情報を市民一人一人が意識する事で、自らの周囲の環境に拡散することや、自身の出来る範囲で学んだことを行動に移してもらうことが目的となります。
経費	

## (2) 報告事項

内 容
<p>■第1部 演題：「小児食物アレルギーについて」講師：聖隷佐倉市民病院 小児科 副部長 鈴木繁 医師 講演 13:00～14:00 質疑応答 14:00～14:15</p> <p>鈴木医師の小児食物アレルギーの講演内容は、医療の専門的な用語を一般の参加者のみなさまに噛み砕いて説明して頂き、とても分かりやすい内容でした。講演内容に関しては、正しいと思っていた事が実は間違っていたと気づかされたシーンが多々あり、目から鱗の連続でした。日頃のスキンケアがアレルギー発症の予防として一番大切なこと。そしてアトピー性皮膚炎とアレルギーには密接な関係性があったという事実。処方された塗り薬の塗布する適量を知ったこと。塗り薬も塗り続けては効果が薄れていく事実。血液検査では食物アレルギーの診断は出来ないことなど。知りたい事が次々と提示され、興味が尽きない内容でした。</p> <p>特に祖父母世代のアレルギーに対する認識や知見が、孫世代に見えないリスクとして存在していることが驚きでした。アレルギーが出る食べ物を孫に誤食させてしまうことは避けなければなりません。家族間での正しい知識の習得が必要です。</p> <p>また、参加者のみなさんがエピペン（アレルギーの症状を緩和する注射液）での対処法の知識が身に付いたことは、アレルギーを抱える子供にとってとても良いことだと思います。家族以外の地域の人が、正しい見識をもって見守ってくれることは、その子の住む街がその子にとってより過ごしやすい環境となるでしょう。</p> <p>鈴木医師のお勤め先の聖隷佐倉市民病院独自の取り組みが印象的でした。是非気になるお子さんをお持ちの方は「スキンケア入院プログラム」を利用してみるべきだと思います。</p> <p>講演後の質疑応答では、個人的な悩みから職場での子供との関わり方まで広く質問がありました。その一つ一つに丁寧にして親身になって答えてくれる鈴木医師の姿は、とても紳士でわけ隔てない優しさに尽きるの一言です。是非今後の講演会にも登壇して頂き、学びの場をより活性化させて頂きたいと感じました。</p>



【資料2】

■第2部 演題：「インクルーシブってなんだろう？」講師：淑徳大学 総合福祉学部 教育福祉学科 松浦俊弥 教授

講演 14：30～16：20 質疑応答 16：20～16：30

松浦教授の講演は冒頭から、物事の背景・本当の真実ってどこにあるの？という訴えかけからスタートしました。私達が普段何気なく素通りしているたくさんの事象は本当に真実なのでしょうか？実は間違った認識をしているのではないのでしょうか？参加者のみなさんに、いつもの当たり前の風景を客観的にそして俯瞰して見る事がとても重要だという事を、事例や映像を含めてとても分かりやすく説明して頂きました。

物事の背景を探るという視点を持って、次の問いかけに進みます。それは出生前診断が始まってから今に至るまでどのような社会変遷があったのか。親が出産の有無を選ぶことの倫理観。産む産まないのジャッジ。そしてその倫理観が引き起こす排除の論理。望まれない出産を排除する事により、人間社会ではいずれすべての人類がいなくなってしまうという世紀末滅亡論。排除の論理は今すぐに考え直し、インクルーシブな環境の創出が必須であると考えさせられる内容でした。なんとなく分かったようであった出生前診断も、検診を受け出産を諦めた人たちの統計数などを見る事により、改めて考え直すきっかけとなりました。

それではインクルーシブな環境を作っていくためにはどうしたらよいのでしょうか、という松浦教授の問いかけ。そこには誰もが認めあい、共存していくために合理的配慮なるものが必要になってきますとの説明。ただし参加者のみなさんに、合理的配慮ってなんだろうという疑問が出てきます。松浦教授は参加者に問いかけます。もしあなたが先生で、教室の中に耳の聞こえない子がいたらどうしますか？もし目が見えない弱視の子がいたらどのような配慮をしますか？参加者の皆さんは黙って考え込んでしまいます。本当にその子にとって本当に適切な配慮って？松浦教授は独自の対応策を実例を挙げて説明されました。そのすべてになるほどと頷くことが多々あり、視点の換え方が本当に重要であると感じました。

まとめでは、知らない為に産まれる誤解と偏見について改めて実例を挙げて説明して頂きました。私たちは知ることにより多くの困りごとを抱えている子どもたちを救うことが出来ます。そして相互に理解し支えあえる地域社会を作ることが可能となります。松浦教授の講演は、とても正面から向き合うには苦しい内容だったと思います。私たちが普段から見ていない、見えていない部分にアプローチした内容だからです。だからといって落ち込む必要は全くありません。知って、理解して、行動する事で混沌とした未来に対して進んでいける。そんな勇気をもらえるような講演内容でした。参加者のみなさんは、それぞれの思いを胸に秘め会場を後にされたと思います。

アンケートの感想欄には、自分は何が出来るのか？今後どのような事をしていけばよいのだろうか？もっと深掘した内容を聞きたいという意見がありました。みなさんの勇気が形になるように次回の講演会も企画させて頂こうと思います。

結 果

総来場者数 35名 (目標 100名)

1部のみ参加：6名 (キャンセル1名) 2部のみ参加：7名 (キャンセル1名) 両方参加：22名 (キャンセル5名)

所 感

当初 100名の定員を設け広報活動をしていたが、市内で他イベントと重なったこともあり思ったより参加者が少なかったように感じました。ただ、会場では余裕のある座席配置になったことや、講師への質疑応答の場面でも意見の交換が積極的に出来る適切な人数であったと思います。参加して頂いた方の殆どが、講演内容に満足し且つ自身の生活の場に有効活用する意思を高く持ちながら会場を後にしていたのが印象的でした。次回開催も視野に入れ、より身近なテーマ、地域に密着したテーマを発信していこうと思います。

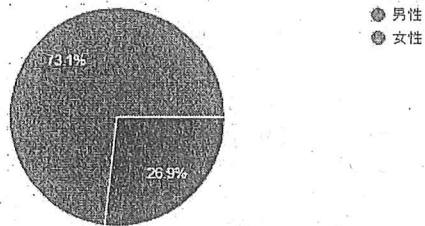


【資料2】

◇アンケート集計結果

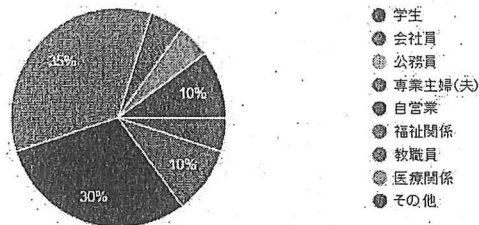
性別

26件の回答



ご職業

20件の回答

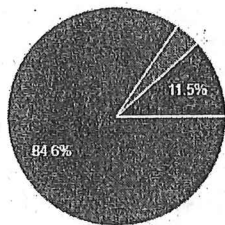


その他…保育士

【資料2】

お住まいの地域

26件の回答

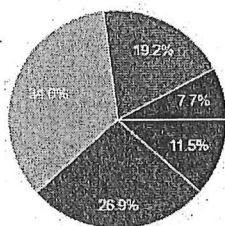


- 四街道市
- 千葉市
- 佐倉市
- 八千代市
- その他

その他…茂原市

ご参加に至ったきっかけ

26件の回答

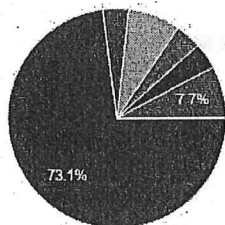


- チラシ
- 市政だより
- 知人の紹介
- Facebook
- その他

その他…職場

ご参加頂いたお連れ様

26件の回答

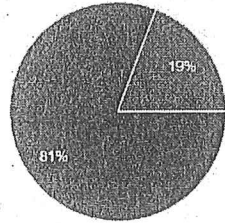


- 1人で来た
- 友人
- 配偶者
- 親
- 子
- 祖父母
- その他

その他…職場の同僚

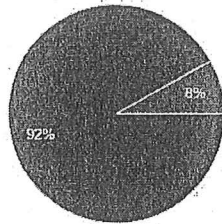
【資料2】

1部「小児食物アレルギーについて」について  
21件の回答



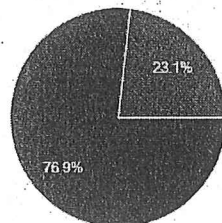
- よく理解できた
- まあ理解できた
- あまりわからない
- 全くわからない

2部「インクルーシブって何だろう」について  
25件の回答



- よく理解できた
- まあ理解できた
- あまりわからない
- 全くわからない

講演会の総合的な満足度  
26件の回答

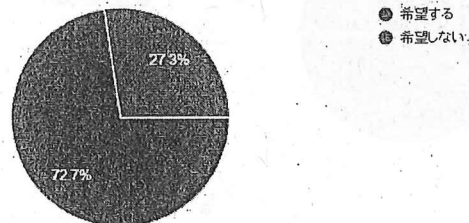


- 大変満足
- 満足
- 普通
- 不満
- 大変不満

## 【資料2】

### メールでの情報配信(講演会や各種イベント)

22件の回答



## ◇感想・ご質問 18 件の回答

親や子どもと関わる事業をしています。今回の様に講座を受けた内容を関わる人たちに伝えていきたいと思います。どんな風に伝えていこうか。千葉市なので社協にこういうような講座をひらいてもらえるか企画してみようと思います。インクルーシブの背景を考えると。ゴミ袋に子どもを入れて、殺してしまった話、背景を知って、何ができるんだろう、どうやっていけばよいだろう。考えてしまう話でした。

地域包括ケアシステムは実現できるのか。障害者支援に携わっているが、就B、特例子会社、農園、社会にとって必要悪。受刑者のVTR、作業所と変わりがない。低賃金、最低賃金の上昇、不景気、誰しも発達障害の一面は持っている。障害の複合精神+知的、知的+発達、グループホーム、支援者(相談支援専門員)の不足、バーンアウトなど。都会は資源が合っていると思う。薬との付き合い方。ADHD改善薬。課題はたくさんあります。学習指導要領が新しく、ついていけるのか、教員の資質が求められすぎとも思う。

企画運営でご苦労が多かったと思います。大変お疲れ様でした。本日参加させて頂きとても理解を深めることができました。今後是非鈴木先生、松浦先生の講演会を受講したいと思いました。ありがとうございました。スタッフの皆さま大変ありがとうございました。

実際に課題が有る子供たちに、大人としてどう接すればよいか。周りの子供たちに接してもらうのが良いのか、具体例などを交えながら教えてもらいたいです。今日の内容もとても勉強になりました。ありがとうございました。

1人でも多くの市民が知ってもらうことが大事だと改めて思いました。個人的にも団体としても学び合う機会を増やしたいと思います。

アレルギーについて間違った認識をしていたので、参加して良かったです。松浦先生のお話しをもっともっとお聞きしたいと思いました。明日からの出勤が楽しみです。

【資料2】

身近なところで活動している「てとて」に参加して、このような勉強会の機会をつくってもらえて嬉しいです。できることを少しずつ、子供たちとやっていきたいです。LGBTについて詳しく知りたいです。

新しい知見などあり、勉強になった。インクルーシブとスペシャル教育・支援について考えている中で、一般のみなさん（当事者・家族などでない）に広く、自分ごととして発達に課題のある人々のことを考えてもらえたら知ってもらえたら、もうすこし楽に生きていけるのではないかと思います。

今まで偏った考え方だと思いました。

とても良いお話をありがとうございました。是非今の学校現場にアプローチが出来ればと思います。次回は教育現場の先生方と保護者がまず何からやるべきか、何が出来るか、成功事例他お聞かせください。

どちらの講演もわかりやすく、とても勉強になりました。何事も知ることが大事だという事がわかりました。

特別支援級、支援級と普通級の選び方、学校の学習面は平均以上（ウイスク等）の子供の普通級で困難と言われた際の対応について。

発達障害について掘り下げた講演会を聞いてみたい。

食物アレルギーのお話、知らなかったことが多く、聞いて良かったです。ありがとうございました。

関心のある事柄はこれからも参加したいと思います。ありがとうございました。勉強になりました。

足元に着目する事。勇気の出るお話でした。

インクルーシブ教育について、今回は概論の様な形だったのだろうと思うので「続き」を期待します。

松浦先生のお話を伺うのは2回目ですが、やはり日本の教育現場の理解の遅さを感じます。刑務所の映像の様なみらいしかまっていないような今の現状を苦しく感じます。一方で発達に課題のあるかもしれない子に出会った時にどう話すべきか悩むところです。

## 『特別支援教育ってなんだろう？』

2020年2月18日(火)

10:00~12:00

わろうべの里

本日まで参加の皆さまへ

本日はお忙しい中、本講演会にご参加いただき誠にありがとうございます。私たちは誰に聞けばよいかわからないわが子の就学先。特別支援教育に対する不安や悩み。それらを払拭したい、手放したいという思いから今回の講演会を企画しました。

長年現場教育を経てきた淑徳大学教授松浦俊弥先生のお話を伺うことで、皆さんが新たな知見を見出し、確かな判断基準を持ち帰っていただければ幸いです。

短い時間ではございますが、特別支援教育に対して理解を深めることができるよう主催者一同努めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

### 【本日のタイムスケジュール】

10:00~ 主催者挨拶 てとて~つながる支援の輪~ 代表 後藤裕紀

10:05~ 『知ってほしい！特別支援教育ってなに？』

講師：淑徳大学 総合福祉学部 教育福祉学科 松浦俊弥教授

10:35~ 自己紹介（お互いの共通点をみつけよう）

10:50~ 休憩

11:00~ 座談会

11:50~ アンケート記入

12:00~ 終了

※12:00~13:00まで同会場にて保護者の交流の場を設けております。また松浦先生に個別に相談事がある方も同時間帯にお願いします。





# ご参加者様アンケート

この度はご参加いただき誠にありがとうございました。  
よろしければ下記アンケートにご協力ください。

## ■ご参加者情報

フリガナ	[REDACTED]
お名前	[REDACTED]
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input checked="" type="checkbox"/> 女性
メールアドレス	[REDACTED]
ご職業	<input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> 専業主婦(夫) <input type="checkbox"/> 自営業 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉関係 <input type="checkbox"/> 教職員 <input type="checkbox"/> 医療関係 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( )
お住まいの地域	<input checked="" type="checkbox"/> 四街道市 <input type="checkbox"/> 千葉市 <input type="checkbox"/> 佐倉市 <input type="checkbox"/> 八千代市 <input type="checkbox"/> その他 ( )

## ■講演会について

ご参加に至ったきっかけ	<input type="checkbox"/> チラシ <input checked="" type="checkbox"/> 市政だより <input type="checkbox"/> 知人の紹介 <input type="checkbox"/> Face Book <input type="checkbox"/> その他 ( )
お子さんの就学状況	<input checked="" type="checkbox"/> これから就学する <input type="checkbox"/> 既に就学している <input type="checkbox"/> 卒業している <input type="checkbox"/> その他 ( )
特別支援教育について	<input checked="" type="checkbox"/> よく理解できた <input type="checkbox"/> まあ理解できた <input type="checkbox"/> あまりわからない <input type="checkbox"/> 全くわからない
講演会の総合的な満足度	<input checked="" type="checkbox"/> 大変満足 <input type="checkbox"/> 満足 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 不満 <input type="checkbox"/> 大変不満
講演会やイベントの案内をメールで受け取ることを希望しますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない

このたび本講演会に参加されてみていかがでしたか？次回の講演で聞きたい内容、講演内容の中で活かせるような事、もっとこうしたら良いといったご指摘、その他ご感想がございましたらご記入ください。

みなさんの活動も、思いに開けて勉強になりました。  
松浦先生の、社会の事情はとも開けてもらった。

ご協力ありがとうございました。

2020年2月18日 特別支援教育ってなんだろう？



# ご参加者様アンケート

この度はご参加いただき誠にありがとうございました。  
よろしければ下記アンケートにご協力ください。

## ■ご参加者情報

フリガナ	[REDACTED]
お名前	[REDACTED]
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input checked="" type="checkbox"/> 女性
メールアドレス	[REDACTED]
ご職業	<input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 公務員 <input checked="" type="checkbox"/> 専業主婦(夫) <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 福祉関係 <input type="checkbox"/> 教職員 <input type="checkbox"/> 医療関係 <input type="checkbox"/> その他 ( )
お住まいの地域	<input checked="" type="checkbox"/> 四街道市 <input type="checkbox"/> 千葉市 <input type="checkbox"/> 佐倉市 <input type="checkbox"/> 八千代市 <input type="checkbox"/> その他 ( )

## ■講演会について

ご参加に至ったきっかけ	<input type="checkbox"/> チラシ <input checked="" type="checkbox"/> 市政だより <input type="checkbox"/> 知人の紹介 <input type="checkbox"/> Face Book <input type="checkbox"/> その他 ( )
お子さんの就学状況	<input type="checkbox"/> これから就学する <input checked="" type="checkbox"/> 既に就学している <input type="checkbox"/> 卒業している <input type="checkbox"/> その他 ( )
特別支援教育について	<input type="checkbox"/> よく理解できた <input checked="" type="checkbox"/> まあ理解できた <input type="checkbox"/> あまりわからない <input type="checkbox"/> 全くわからない
講演会の総合的な満足度	<input type="checkbox"/> 大変満足 <input checked="" type="checkbox"/> 満足 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 不満 <input type="checkbox"/> 大変不満
講演会やイベントの案内をメールで受け取ることを希望しますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない

このたび本講演会に参加されてみていかがでしたか？次回の講演で聞きたい内容、講演内容の中で活かせるような事、もっとこうしたら良いといったご指摘、その他ご感想がございましたらご記入ください。

家庭でのより良い支援方法 ~~を~~ 講座を参考にしたい

ご協力ありがとうございました。

2020年2月18日 特別支援教育ってなんだろう？

# ご参加者様アンケート

この度はご参加いただき誠にありがとうございました。  
よろしければ下記アンケートにご協力ください。

## ■ご参加者情報

フリガナ	[REDACTED]
お名前	[REDACTED]
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input checked="" type="checkbox"/> 女性
メールアドレス	[REDACTED]
ご職業	<input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 会社員 <input checked="" type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> 専業主婦(夫) <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 福祉関係 <input type="checkbox"/> 教職員 <input type="checkbox"/> 医療関係 <input type="checkbox"/> その他 ( )
お住まいの地域	<input checked="" type="checkbox"/> 四街道市 <input type="checkbox"/> 千葉市 <input type="checkbox"/> 佐倉市 <input type="checkbox"/> 八千代市 <input type="checkbox"/> その他 ( )

## ■講演会について

ご参加に至ったきっかけ	<input type="checkbox"/> チラシ <input checked="" type="checkbox"/> 市政だより <input checked="" type="checkbox"/> 知人の紹介 <input type="checkbox"/> Face Book <input type="checkbox"/> その他 ( )
お子さんの就学状況	<input checked="" type="checkbox"/> これから就学する <input type="checkbox"/> 既に就学している <input type="checkbox"/> 卒業している <input type="checkbox"/> その他 ( )
特別支援教育について	<input type="checkbox"/> よく理解できた <input checked="" type="checkbox"/> まあ理解できた <input type="checkbox"/> あまりわからない <input type="checkbox"/> 全くわからない
講演会の総合的な満足度	<input checked="" type="checkbox"/> 大変満足 <input type="checkbox"/> 満足 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 不満 <input type="checkbox"/> 大変不満
講演会やイベントの案内をメールで受け取ることを希望しますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない

このたび本講演会に参加されてみていかがでしたか？次回の講演で聞きたい内容、講演内容の中で活かせるような事、もっとこうしたら良いといったご指摘、その他ご感想がございましたらご記入ください。

ぜひ、保護者の勉強会も機会を作ってください

ご協力ありがとうございました。

2020年2月18日 特別支援教育ってなんだろう？



# ご参加者様アンケート

この度はご参加いただき誠にありがとうございました。  
よろしければ下記アンケートにご協力ください。

## ■ご参加者情報

フリガナ	[REDACTED]
お名前	[REDACTED]
性別	<input checked="" type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性
メールアドレス	[REDACTED]
ご職業	<input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> 専業主婦(夫) <input checked="" type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 福祉関係 <input type="checkbox"/> 教職員 <input type="checkbox"/> 医療関係 <input type="checkbox"/> その他 (                      )
お住まいの地域	<input checked="" type="checkbox"/> 四街道市 <input type="checkbox"/> 千葉市 <input type="checkbox"/> 佐倉市 <input type="checkbox"/> 八千代市 <input type="checkbox"/> その他 (                      )

## ■講演会について

ご参加に至ったきっかけ	<input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> 市政だより <input type="checkbox"/> 知人の紹介 <input type="checkbox"/> Face Book <input type="checkbox"/> その他 (                      )
お子さんの就学状況	<input checked="" type="checkbox"/> これから就学する <input type="checkbox"/> 既に就学している <input type="checkbox"/> 卒業している <input type="checkbox"/> その他 (                      )
特別支援教育について	<input type="checkbox"/> よく理解できた <input checked="" type="checkbox"/> まあ理解できた <input type="checkbox"/> あまりわからない <input type="checkbox"/> 全くわからない
講演会の総合的な満足度	<input checked="" type="checkbox"/> 大変満足 <input type="checkbox"/> 満足 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 不満 <input type="checkbox"/> 大変不満
講演会やイベントの案内をメールで受け取ることを希望しますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない

このたび本講演会に参加されてみていかがでしたか？ 次回の講演で聞きたい内容、講演内容の中で活かせるような事、もっとこうしたら良いといったご指摘、その他ご感想がございましたらご記入ください。

大変よかったです。 <sup>こんごも</sup> 参加イベントです。

ご協力ありがとうございました。

2020年2月18日 特別支援教育ってなんだろう？



# ご参加者様アンケート

この度はご参加いただき誠にありがとうございました。  
よろしければ下記アンケートにご協力ください。

## ■ご参加者情報

フリガナ	[REDACTED]
お名前	[REDACTED]
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input checked="" type="checkbox"/> 女性
メールアドレス	[REDACTED]
ご職業	<input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 公務員 <input checked="" type="checkbox"/> 専業主婦(夫) <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 福祉関係 <input type="checkbox"/> 教職員 <input type="checkbox"/> 医療関係 <input type="checkbox"/> その他 ( )
お住まいの地域	<input checked="" type="checkbox"/> 四街道市 <input type="checkbox"/> 千葉市 <input type="checkbox"/> 佐倉市 <input type="checkbox"/> 八千代市 <input type="checkbox"/> その他 ( )

## ■講演会について

ご参加に至ったきっかけ	<input type="checkbox"/> チラシ <input checked="" type="checkbox"/> 布政だより <input type="checkbox"/> 知人の紹介 <input type="checkbox"/> Face Book <input type="checkbox"/> その他 ( )
お子さんの就学状況	<input checked="" type="checkbox"/> これから就学する <input type="checkbox"/> 既に就学している <input type="checkbox"/> 卒業している <input type="checkbox"/> その他 ( )
特別支援教育について	<input type="checkbox"/> よく理解できた <input checked="" type="checkbox"/> まあ理解できた <input type="checkbox"/> あまりわからない <input type="checkbox"/> 全くわからない
講演会の総合的な満足度	<input type="checkbox"/> 大変満足 <input checked="" type="checkbox"/> 満足 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 不満 <input type="checkbox"/> 大変不満
講演会やイベントの案内をメールで受け取ることを希望しますか?	<input checked="" type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない

このたび本講演会に参加されてみていかがでしたか？ 次回の講演で聞きたい内容、講演内容の中で活かせるような事、もっとこうしたら良いといったご指摘、その他ご感想がございましたらご記入ください。

現在進行形で子育て中の母のお話、経験談、  
真内の先生のお話を具体的に聞けて勉強になりました  
(アシスト学校、差校)

ご協力ありがとうございました。

2020年2月18日 特別支援教育ってなんだろう？

# ご参加者様アンケート

この度はご参加いただき誠にありがとうございました。  
よろしければ下記アンケートにご協力ください。

## ■ご参加者情報

フリガナ	[REDACTED]
お名前	[REDACTED]
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input checked="" type="checkbox"/> 女性
メールアドレス	[REDACTED]
ご職業	<input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> 専業主婦(夫) <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 福祉関係 <input type="checkbox"/> 教職員 <input type="checkbox"/> 医療関係 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (パート )
お住まいの地域	<input checked="" type="checkbox"/> 四街道市 <input type="checkbox"/> 千葉市 <input type="checkbox"/> 佐倉市 <input type="checkbox"/> 八千代市 <input type="checkbox"/> その他 ( )

## ■講演会について

ご参加に至ったきっかけ	<input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> 市政だより <input checked="" type="checkbox"/> 知人の紹介 <input type="checkbox"/> Face Book <input type="checkbox"/> その他 ( )
お子さんの就学状況	<input type="checkbox"/> これから就学する <input checked="" type="checkbox"/> 既に就学している <input type="checkbox"/> 卒業している <input type="checkbox"/> その他 ( )
特別支援教育について	<input checked="" type="checkbox"/> よく理解できた <input type="checkbox"/> まあ理解できた <input type="checkbox"/> あまりわからない <input type="checkbox"/> 全くわからない
講演会の総合的な満足度	<input checked="" type="checkbox"/> 大変満足 <input type="checkbox"/> 満足 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 不満 <input type="checkbox"/> 大変不満
講演会やイベントの案内をメールで受け取ることを希望しますか?	<input checked="" type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない

このたび本講演会に参加されてみていかがでしたか？ 次回の講演で聞きたい内容、講演内容の中で活かせるような事、もっとこうしたら良いといったご指摘、その他ご感想がございましたらご記入ください。

色々話が聞けて楽しかったぞ  
又、何かイベントがあれば参加したいぞ

ご協力ありがとうございました。

2020年2月18日 特別支援教育ってなんだろう？



# ご参加者様アンケート

この度はご参加いただき誠にありがとうございました。  
よろしければ下記アンケートにご協力ください。

## ■ご参加者情報

フリガナ	[REDACTED]
お名前	[REDACTED]
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input checked="" type="checkbox"/> 女性
メールアドレス	[REDACTED]
ご職業	<input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 公務員 <input checked="" type="checkbox"/> 専業主婦(夫) <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 福祉関係 <input type="checkbox"/> 教職員 <input type="checkbox"/> 医療関係 <input type="checkbox"/> その他 ( )
お住まいの地域	<input checked="" type="checkbox"/> 四街道市 <input type="checkbox"/> 千葉市 <input type="checkbox"/> 佐倉市 <input type="checkbox"/> 八千代市 <input type="checkbox"/> その他 ( )

## ■講演会について

ご参加に至ったきっかけ	<input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> 市政だより <input type="checkbox"/> 知人の紹介 <input type="checkbox"/> Face Book <input checked="" type="checkbox"/> その他 (てとて )
お子さんの就学状況	<input type="checkbox"/> これから就学する <input checked="" type="checkbox"/> 既に就学している <input type="checkbox"/> 卒業している <input type="checkbox"/> その他 ( )
特別支援教育について	<input checked="" type="checkbox"/> よく理解できた <input type="checkbox"/> まあ理解できた <input type="checkbox"/> あまりわからない <input type="checkbox"/> 全くわからない
講演会の総合的な満足度	<input type="checkbox"/> 大変満足 <input checked="" type="checkbox"/> 満足 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 不満 <input type="checkbox"/> 大変不満
講演会やイベントの案内をメールで受け取ることを希望しますか?	<input checked="" type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない

このたび本講演会に参加されてみていかがでしたか？次回の講演で聞きたい内容、講演内容の中で活かせるような事、もっとこうしたら良いといったご指摘、その他ご感想がございましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

2020年2月18日 特別支援教育ってなんだろう？

# ご参加者様アンケート

この度はご参加いただき誠にありがとうございました。  
よろしければ下記アンケートにご協力ください。

## ■ご参加者情報

フリガナ	[REDACTED]
お名前	[REDACTED]
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input checked="" type="checkbox"/> 女性
メールアドレス	[REDACTED]
ご職業	<input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> 専業主婦(夫) <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 福祉関係 <input type="checkbox"/> 教職員 <input type="checkbox"/> 医療関係 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (地域ボランティア) MPO 支援人
お住まいの地域	<input checked="" type="checkbox"/> 四街道市 <input type="checkbox"/> 千葉市 <input type="checkbox"/> 佐倉市 <input type="checkbox"/> 八千代市 <input type="checkbox"/> その他 ( )

## ■講演会について

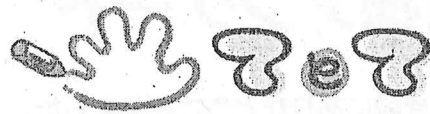
ご参加に至ったきっかけ	<input checked="" type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> 市政だより <input type="checkbox"/> 知人の紹介 <input checked="" type="checkbox"/> Face Book <input type="checkbox"/> その他 ( )
お子さんの就学状況	<input type="checkbox"/> これから就学する <input type="checkbox"/> 既に就学している <input type="checkbox"/> 卒業している <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( )
特別支援教育について	<input checked="" type="checkbox"/> よく理解できた <input type="checkbox"/> まあ理解できた <input type="checkbox"/> あまりわからない <input type="checkbox"/> 全くわからない
講演会の総合的な満足度	<input checked="" type="checkbox"/> 大変満足 <input type="checkbox"/> 満足 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 不満 <input type="checkbox"/> 大変不満
講演会やイベントの案内をメールで受け取ることを希望しますか?	<input checked="" type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない

このたび本講演会に参加されてみていかがでしたか？次回の講演で聞きたい内容、講演内容の中で活かせるような事、もっとこうしたら良いといったご指摘、その他ご感想がございましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

2020年2月18日 特別支援教育ってなんだろう？





## てとて～つながる支援の輪～ 活動の目的と理念

みんな誰もが得意なことや不得意なことがきっとあるはず。  
そんな「個性」をお互いに認め合って、支え合える関係になれば。  
そしてお互いに支え合うことで自分らしくなれる居場所ができれば。

「てとて～つながる支援の輪～」は課題を抱える子どもそうでない子ども  
お互いの事を認め合い理解するためのイベント開催や  
居場所づくりを目的に活動します。

それらの活動を通して子どもたちが地域の方々に理解されていく事が  
子どもたちが住みやすい街の形成へと繋がっていくでしょう。

凸凹のある子が自分らしく生きていい街へ。



### 2019年度の活動を振り返って

私たち「てとて～つながる支援の輪～」は、2019年度のコラボ四街道採択事業  
として1年に渡って活動を行ってきました。

四街道市と二人三脚で歩んできた1年。発達に課題を抱える子供への理解と支援  
が出来る地域を作りたいという目標に大きな一歩を踏み出す事が出来ました。

- ・子供たちを対象にした様々な体験教室を定期的に開催。
- ・専門家を招致した講演会で市民の抱える悩みや課題を解決するヒントの発信。

少しずつではありますが、私たちの活動も認知され、多方面から活動のコラボ  
レーションのお声掛けを頂く機会も多くなってきました。

今年度の活動は、たくさんの関係者の皆様に支えられ無事に走りきれた1年だっ  
たといえます。

今後も活動の幅を拡大し、四街道市そして市民の皆様と一緒に発達に課題を抱  
える子供が住みやすい地域作りの発展に努めたいと思います。

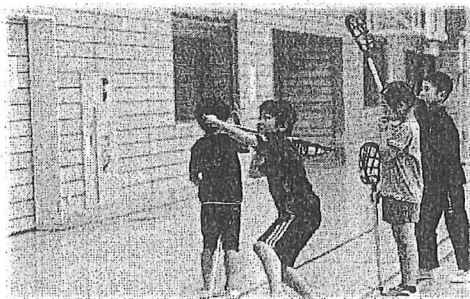




## インクルーシブ子供教室



### ソフトラクロス教室



年間を通して固定メンバーにて実施した活動です。子どもの年齢も年少～小学校高学年と幅広く参加して頂きました。

講師は特別支援教育の現場に従事しているラクロス経験者を迎えました。

子どもたちは競技を通じて友達との関わり方、集団の中での自分の在り方などを学びました。

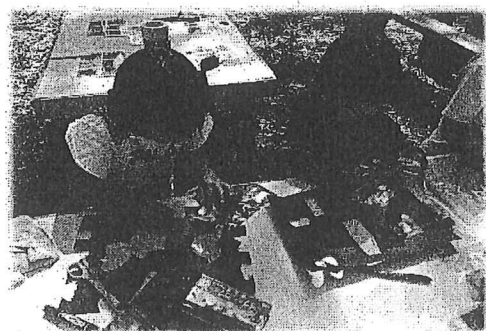
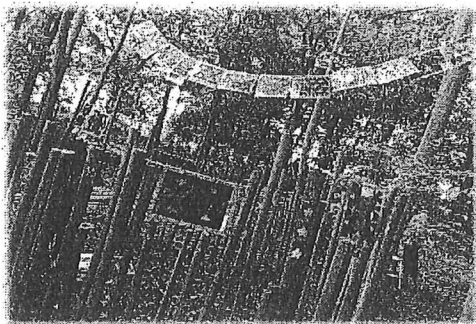
できる子ができない子を支える。できない子ができる子に寄り添う。そのような場面が多く見られるようになってきました。

#### 【活動実績】

4月20日	16名	総合公園体育館
7月6日	12名	総合公園体育館
8月31日	16名	総合公園体育館
9月29日	6名	総合公園体育館
2月15日	13名	総合公園体育館



### アート教室



プレーパークどんぐりの森の敷地内にて、竹を立てて竹道をつくる竹アート、セロハンをスタンドグラスに見立てて切り絵を作るスタンドグラスアート。

アート教室では、MORINO OTO Festivalの開催に合わせて、子どもたちと展示物となるアートを作成しました。

MORINO OTO Festival開催日当日には、来場者がアートの製作に関わるなど、一般市民との交流の場にもなりました。

絵本作家兼イラストレーターの講師を迎え、子どもたちの独創的な感覚を惜しみなくアートに反映させて頂きました。

#### 【活動実績】

10月5日	7名	どんぐりの森
10月19日	9名	どんぐりの森
10月26日	15名	どんぐりの森



## お料理教室



子どもたちの五感を刺激したお料理教室を開催したいという想いで始めました。

調理器具を危なっかしく使う子に対して、サポートしながら手伝う子。周りのやり方をジッと観察して、一人でやりきる子。お料理にすぐ飽きちゃって、別の遊びを始めちゃう子。子どもたちの「やりたい」を尊重しながら、手順が重要な料理という作業を集団の中で遂行する。

家庭での生活行動にも直ぐに反映出来ることもあり、参加者が多い人気の教室でした。

### 【活動実績】

10月20日	20名	わろうべの里
1月19日	20名	わろうべの里
2月16日	18名	わろうべの里



## 自然体験教室



カゴに入って売られてるカブトムシやクワガタでは無く、木の樹液を吸っている野生のそれを捕まえさせたい。

スーパーや八百屋に売られているキレイな野菜では無く、土と泥で汚れた、青臭い葉っぱの匂いを振りまくそれを収穫させたい。

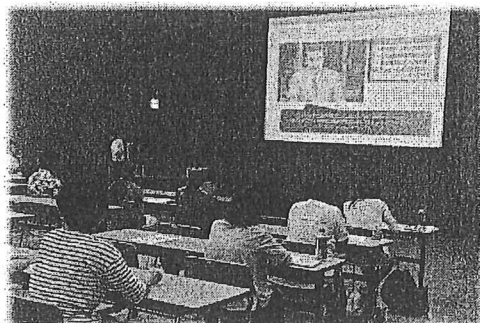
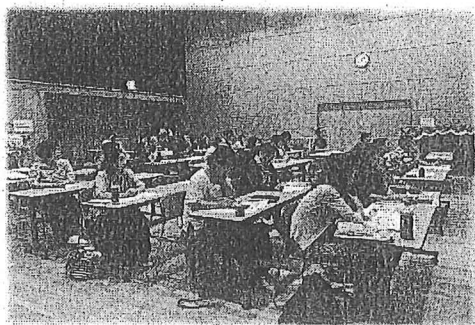
自然体験教室では、子どもたちに本物と触れ合う体験を多く企画しました。足場の悪い環境で、しっかりとバランスを取りながら作業する子ども達を見ることができました。

### 【活動実績】

7月23日	8名	稲坂なし園
7月25日	5名	稲坂なし園
7月26日	2名	稲坂なし園
1月25日	8名	稲坂なし園



## 専門家による講演会



専門家による講演会を開催させて頂きました。

9月1日に開催した講演会は2部制にて実施しました。第1部では聖隷佐倉市民病院の小児科医を講師として招き、子どものアレルギーに対してどのような対応や対策、関わり方が出来るのかを講演して頂きました。第2部では淑徳大学にて特別支援教育を指導されている准教授を招いて、インクルーシブ教育とは何なのか？現在の子どもを取り巻く教育環境の実態などを実例を多く挙げながら講演して頂きました。

実際に現場の前線で活躍されているお二人の言葉は一つ一つが重みがあり、聞いている参加者の皆様もメモを取る手が止まることはありません。最後まで集中力が切れず充実した学びの場であったと思います。

学んだ内容は、日常で意識することで直ぐに周囲へサポートが期待できる実践的な内容でした。講演会後のアンケート結果を集計したところ、非常に満足度が高く、次回開催を熱望される意見が多かったです。

市民の一人一人が意識して行動することで、少しずつですが色々な境遇の子どもたちが住みやすい街の形成に寄与出来るのではないかと期待しています。

### 【活動実績】

9月1日 34名 わろうべの里  
2月18日 11名 わろうべの里



## てとて～つながる支援の輪～

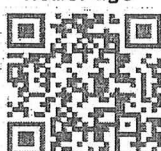
代表 後藤裕紀 (ごとうゆうき)

副代表 後藤陽子 (ごとうようこ)

Facebook



HomePage



Mail

[tetote.yotsukaido@gmail.com](mailto:tetote.yotsukaido@gmail.com)

Tell

090-4520-5804

作成日：2020年3月末日



第1回

ムスカシイコト  
ぬき!

～子育て世代のための～

# 知って活かそう!! 共育セミナー

2019年

日時

9月1日 日 13:00-16:30 (12:30開場)

場所: 四街道市南部総合福祉センターわろうべの里 [わろうびんぐホール]  
住所: 千葉県四街道市和良比635-4

第1部

小児アレルギーについて知りたい!

13:00~14:00

「小児食物アレルギーについて」

講師: 鈴木繁 (聖隷佐倉市民病院 小児科 副部長)



第2部

こどもの発達について知りたい!

14:30~16:30

「インクルーシブって何だろう?」

～誰もが笑顔で共に支えあえる

未来のまちづくりをめざして～

講師: 松浦俊弥 (淑徳大学 総合福祉学部 教育福祉学科 教授)



【ご予約・お問い合わせは下記①～④からどうぞ】

①オンライン ②フェイスブック ③メール  
申込フォーム

✉ tetote.yotsukaido@gmail.com

④電話  
☎ 090-4520-5804  
(後藤)



※定員は100名です。定員になり次第締め切らせて頂きます。

◆本事業はコラボ四街道採択事業です。コラボ四街道に関する  
お問い合わせはシティセールス推進課043-421-6162まで。

◆主催 てとて～つながる支援の輪～ ◆後援 四街道市教育委員会





## 『一緒にやろう！みんな友だち！！ ソフトラクロス教室開催のお知らせ』

### 『ソフトラクロスって？』

ソフトラクロスとは、屋外でも屋内でも場所を問わずプレーできるスポーツです。年齢・性別も関係なく出来るよう、ラクロスを改善して安全に楽しめるようにしたものとなります。ヘルメットもつけません、軽いラケットでプレーします！

子どもソフトラクロス教室は、みんなで体を動かし、その中で子ども達のコミュニケーション能力を高めていくことを目的としています。ソフトラクロスというスポーツを通して、発達に課題のある子もない子もみんなでスポーツすることの楽しさや、他者と関わりを持つ事の楽しさを知って欲しいと考えています。是非お気軽にご参加ください。

指導者：淑徳大学教育福祉学部ラクロス部学生

#### おねえさん



リーちゃん



のん

#### おにいさん



ロマエ



リオウ

### 【 第 2 回 体験 】

日時 2月15日(土)  
時間 13時30分～15時30分  
場所 淑徳大学千葉第1キャンパス2号館(アリーナ)  
千葉県千葉市中央区大蔵寺町200 TEL:043-265-7331

### 【 第 3 回 体験 】

日時 2月16日(日)  
時間 13時30分～15時30分  
場所 淑徳大学千葉第1キャンパス2号館(アリーナ)  
千葉県千葉市中央区大蔵寺町200 TEL:043-265-7331

### 【 体験費 参加費 】

- ・2019年3月までの体験費 300円(子ども1人)
- ※兄弟・姉妹の体験も300円とさせていただきます。
- ・2019年4月からの参加費 500円(子ども1人)
- ※兄弟・姉妹の参加も300円とさせていただきます。

### 【 持ち物 】

- ・飲み物
- ・動きやすい服装
- ・運動靴(肉履)
- ※ラケット、ボールは無料にて貸し出しさせていただきます。

### 【 主催 】

- ◆淑徳大学 教育福祉学部 ラクロス部
- ◆てとて～つながる支援の輪

### 【 ご質問・参加等の連絡先 】

tetote.yotsukaido@gmail.com

( 担当 : 後藤 )

## ～ 第1回を終えて… 体験者&主催者の感想です ～

### 《 体験者 ～ 2年生男子の母 ～ 》

私はこのイベントが、発達に課題のある子もない子と一緒にやろうという前提があるので、気楽に参加することができました。

いつもなら、息子の行動が気になって(どう思われる?迷惑?ケガをさせないかなど)、気疲れしちゃうんだけど、そのままいいんだ。それを受け止めてくれるんだ。という安心感がありました。

学生たちの関わりもこどもの様子に合わせて、臨機応変に対応してくれていたのだから、こどもたちが安心して自分を出していたと感じました。

意外だったのが、ラクロスって、不器用な子でもできるんだ!ってこと。

息子は、バトミントンとか卓球とか、バレーボールとか動いているものを打つのがなかなかできないの。動きもロボットだしね(笑)

でも、意外にできていて、それが本人も凄く嬉しかったみたい。

もっとやりたい、ラケット買いたいって言ってました。

そういえば、ラクロスって、失敗をすぐリカバリーできるスポーツだなあと思った。ルールも簡単だし、技術より、気持ちでできる。

これ、凸凹くんには、いいかも!って思ったよ。来月が楽しみです。



### 《 主催者 ～ ロマエ ～ 》

初めて会う方が殆どだった為、説明会も交流会も正直、とても緊張しましたが、子供たちの元気な様子を見て、一緒に楽しむことができました。

わたしは、特別支援が特別支援にならないこと(特別支援が当たり前になること)を目指しているので、今回も色々なことを想定しました。とにかく、楽しくて居心地の良い空間をつくりたいと考えています。

至らない点もあったかもしれませんが、後藤さん夫妻をはじめ、参加して下さった親御さんのご理解、ご協力のもと今回は、楽しんでもらえたようで何よりです。

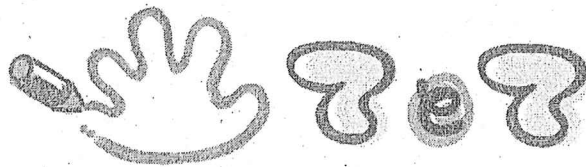
12月から開催のソフトラクロス教室では、今回以上に臨機応変さが必要かもしれませんが、楽しく柔軟に対応していきたいと思えます。

フェイスブックでも情報を発信しています!! てとて～つながる支援の輪～



[facebook.com/tetote.yotsukaido/](https://facebook.com/tetote.yotsukaido/)





## てとて～つながる支援の輪～ってなあに？

みんな誰もが得意なことや不得意なことがきっとあるはず。  
そんな「個性」をお互いに認め合って、支え合える関係になれば。  
そしてお互いに支え合うことで、自分らしく住める居場所ができれば。

「てとて～つながる支援の輪～」は、課題を抱える子どもそうでない子ども  
お互いの事を認め合い理解するためのイベント開催や居場所づくりを目的に活動します。  
それらの活動を通して子どもたちが地域の方々に理解されていく事が  
子どもたちが住みやすい街の形成へと繋がっていくでしょう。

凸凹のある子が自分らしく生きていい街へ。



### どんな活動してるの？

『インクルーシブ子ども教室』を開催しています。

子供たちが自分らしくいられる居場所をつくりたいという想いから、  
定期的にインクルーシブ子ども教室を開催しています。

ここでは課題がある子どもない子ども一緒に過ごします。  
出来ない事もそれぞれの個性とし、お互いに認め合って過ごします。

また子どもたちがインクルーシブ子ども教室を通して、学校や地域  
社会の中で困ったことをする子、物事をなかなかうまくできない子に  
目を向け、手を差し伸べるきっかけになって欲しいという願いもあります。

お料理教室



ソフトラクロス教室



#### ◆今後の活動予定

お料理教室 2020年1/19(日) 2/16(日)

自然体験教室 2020年1/25(土)

ソフトラクロス教室 ※参加申込は締め切っております。

※各教室の詳細は、SNSで都度ご確認ください。



### 第2回講演会 申込受付中!!

『特別支援教育って何だろう？我が子の就学先の選び方』

講師:松浦 俊弥(淑徳大学 総合福祉学部 教育福祉学科 教授)

日時:2020年2月18日(火) 午前10:00~12:00

場所:わろうべの里2F 食のスタジオ

定員:16名

参加費:500円

#### ◆対象者:

お子さんの特別支援教育を考えている、悩んでいる保護者

#### ◆内容:

在住学区の小中学校にある特別支援「学級」と特別支援「学校」の  
違いや、特別支援教育卒業後の進路の現状、特別支援教育とは何  
かなどを具体的に分かりやすく説明します。  
また参加者同士での子供の就学に関する情報共有なども行います。

※終了後13時まで講師および市内小学校特別支援級に在学中の  
子を持つ保護者とお話しができます。必要に応じて軽食などをご持  
参ください。

#### ◆申込方法:

1. お電話でのお申込み

後藤 090-4520-5804

2. メールでのお申込み

tetote.yotsukaido@gmail.com

3. Facebookからのお申込み

当チラシ右下のQRコードより

主催:てとて～つながる支援の輪～

本事業はコラボ四街道採択事業です。コラボ四街道に関するお問  
い合わせはシティーセールス推進課043-421-6162へお願いします。



## てとて～つながる支援の輪～

代表 後藤裕紀(ごとうゆうき) 副代表 後藤陽子(ごとうようこ)

Facebook



事業報告書類

たろやま会

コラボ四街道まとめ

団体名	たろやま会
事業名	自然は素晴らしい、みんなの里山~たろやまの郷~に行こう

事業部門	地域づくり部門
担当課・関係課	都市計画課

事業内容	事業の詳細な内容（実施日、参加者数、会場、スケジュール等）や市、関係機関との役割分担や関わり等について記載。資料が多い場合は別途添付。			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たろやまの郷における生物リスト作り</li> <li>・たろやまの郷の生物を紹介するガイドブック作り</li> </ul> <p>ガイドブックの活用を予定したたろやまの郷における秋の自然観察会は、台風の影響で中止となった。栗山小学校 4 年生の自然観察の授業では、たろやま会のメンバーがガイドブックを活用して指導を行った。（10 月 18 日は天候の関係により教室で、2 月 6 日はたろやまの郷でそれぞれ約 40 名の参加を得て実施。）</p> <p>なお、市内の小学校・中学校・高等学校・大学にはガイドブックとリストを送付し、観察会等で活用することを提案したが、現在のところ具体的な希望は出ていない。</p>			
事業内容変更	軽微なものを除き、当初予定していた事業の内容に変更があった場合は、その内容と理由を記載			
	10 月 8 日付けで予算についての変更を申請、許可を受ける。編集担当の努力で印刷費が軽減されたが、その分、内容充実を行ったために編集費がかさんだ。			
事業費総額	予算	325,000 円	決算	325,000 円
補助金額	予算	292,000 円	決算	292,000 円

事業成果	事業実施した結果、得られた成果や効果を、数字等を交えて記載			
	<p>生物リストを作成した。四街道市全域における生物をまとめたリストが存在しない中、たろやまの郷と言う限定された地域ではあるが、リストが完成したことは生物多様性が重視されている状況の中で、四街道市内の自然の豊かさを科学的に裏付けた資料として、学問的に意義がある。リストは研究機関(千葉県中央博物館)、図書館、市の自然保護担当(環境政策課)、四街道市内の中学校、高等学校、大学に送付した。</p> <p>ガイドブックは、市内の小学校(12校)、中学校(5校)、高等学校(4校)、大学(1校)、幼稚園と保育園等に配布した。また、市役所・たろやまの郷で希望者に、既に1000部近く配布していると推定している。市役所の都市計画課では、市民へ100部以上配布している。たろやまの郷では、掲示板で自由に入手できるようにしており、毎週10部程度が活用されている。ガイドブックは、子どもたちが親しめるよう</p>			

	<p>編集したため、各方面から楽しいガイドブックだと評判が高い。たろやまの郷に散策に来ていた親子から「あの本幼稚園で見た」との声や「花の名前がわかって嬉しい」との声が挙がる様子も見かけた。</p> <p>たろやまの郷の来訪者数は、カウントできる体制がないため不明だが、ガイドブックやその他の配布物の利用状況から、明らかに増加していると思われる。</p>
事業の課題、担当課との関わり等	<p>事業全体を通して、改善点や今後の課題、担当課との関わり等について記載。</p> <p>より多くの人なたろやまの郷で自然を楽しむことが当初からの課題である。たろやまの郷では田植え、稲刈り、自然観察会、ホタルナイトツアーなどの行事を行っているが、これらの行事の時には、積極的にガイドブックを活用するようなプログラムを検討したい（例えば、田植えの前後等に、自然を楽しむ時間をつくるなど）。</p> <p>担当の都市計画課やシティセールス推進課とは、必要に応じて連絡を取り、援助・助言等を受けることができた。</p>
今後の事業展開	<p>成果や課題等を踏まえた今後の事業展開について記載</p> <p>たろやまの郷に多くの市民が訪れるようにすることが大切である。この事業で作成したガイドブック等を活用し、観察会等の企画を考えている。</p>
担当課のふりかえり	<p>(都市計画課)</p> <p>ガイドブックを活用した自然観察会は台風の影響により中止となりましたが、生物リスト及びガイドブックを作成、配布し、たろやまの郷の魅力を広く発信することができた事業であると考えます。</p>
みんなで地域づくり推進委員会のコメント	

生物リスト、ガイドブック、宣伝チラシ を添付します。

みんなで地域づくり事業収支決算書

事業名	自然は素晴らしい、みんなの里山~たろやまの郷~に行こう
団体名	たろやま会

【収入】

(単位：円)

項目	予算額	決算額	差額	具体的な内容
市補助金	292,000	292,000	0	325,000×0.9
自己資金	33,000	33,000	0	会財政より
収入合計	325,000	325,000	0	

【支出】

(単位：円)

項目	予算額	決算額	差額	具体的な内容	
対象経費	印刷製本費	219,546	225,980	▲6,434	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冊子作成</li> <li>表紙 3000部 33,650円</li> <li>中綴じ冊子 3000部 168,890円</li> <li>・生物リスト作成 60部 17,650円</li> <li>・宣伝用チラシ 1500部 5,790円</li> </ul>
	委託費	105,454	99,020	6,434	編集 冊子 84,020円、 リスト 15,000円
	小計	325,000	325,000	0	
対象外経費					
	小計				
支出合計	325,000	325,000	0		



☆発行：たろやま会（市民団体）  
 ☆問合せ：市都市計画課043-421-2263

# 「ガイドブック」 配布中！！

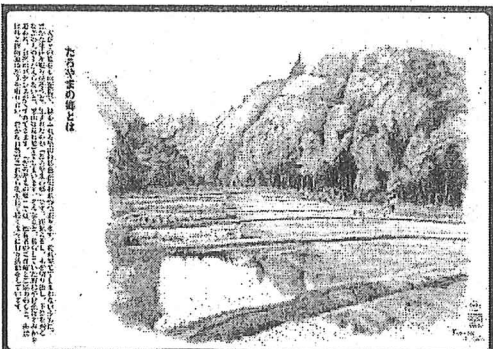
これを読んで  
たろやまの郷を  
もっと好きになろう



たろやまの郷  
じぜんもんずつガイドブック

## たろやまの さとみつけ

—お気に入りは見つかるかな—



もくじ

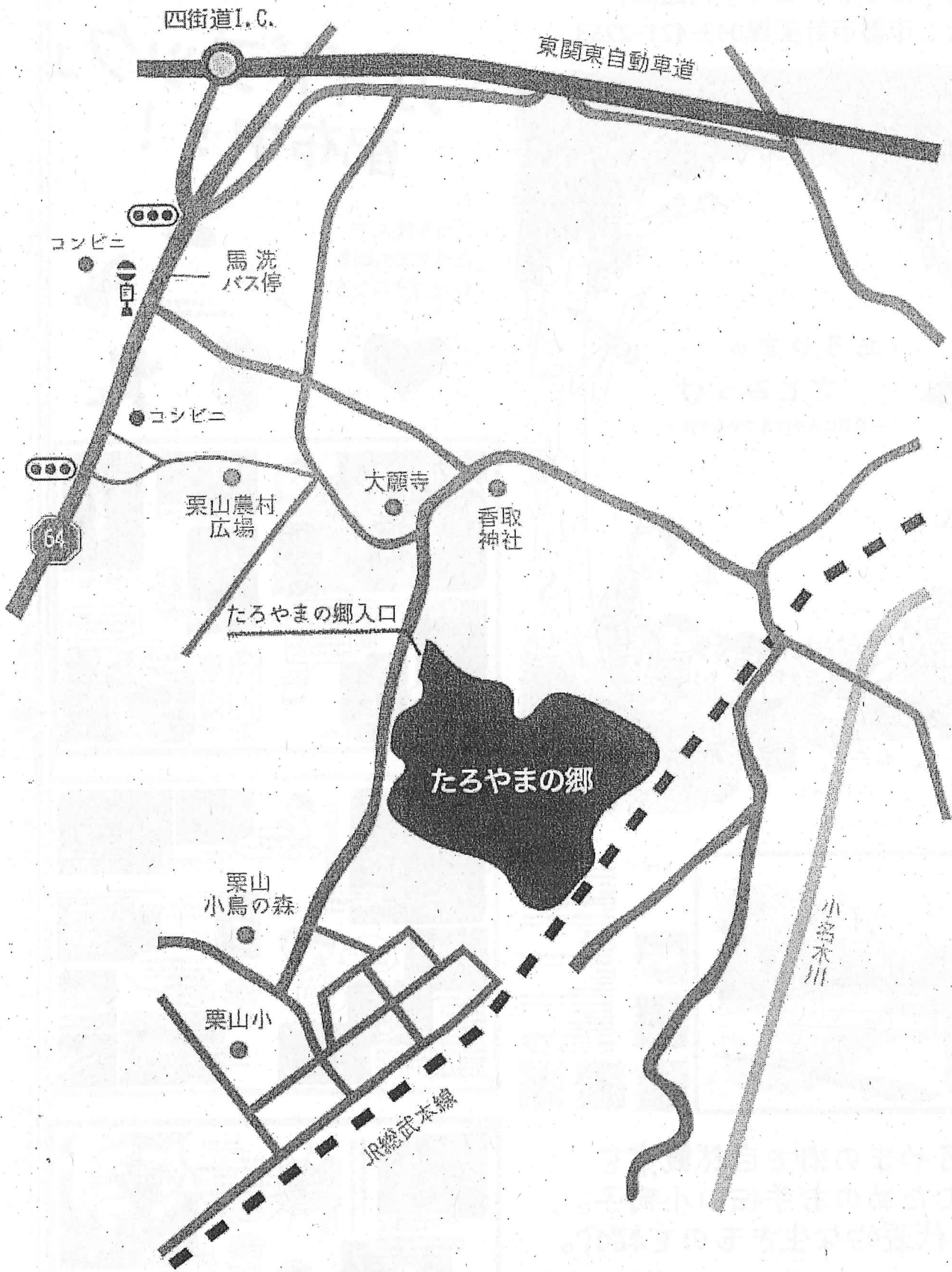
- 1 自然観察の楽しみ
- 2 自然観察の準備
- 3 自然観察の場所
- 4 自然観察の時間
- 5 自然観察の服装
- 6 自然観察の持ち物
- 7 自然観察の注意事項
- 8 自然観察の楽しみ
- 9 自然観察の準備
- 10 自然観察の場所
- 11 自然観察の時間
- 12 自然観察の服装
- 13 自然観察の持ち物
- 14 自然観察の注意事項
- 15 自然観察の楽しみ
- 16 自然観察の準備
- 17 自然観察の場所
- 18 自然観察の時間
- 19 自然観察の服装
- 20 自然観察の持ち物
- 21 自然観察の注意事項
- 22 自然観察の楽しみ
- 23 自然観察の準備
- 24 自然観察の場所
- 25 自然観察の時間
- 26 自然観察の服装
- 27 自然観察の持ち物
- 28 自然観察の注意事項
- 29 自然観察の楽しみ
- 30 自然観察の準備
- 31 自然観察の場所
- 32 自然観察の時間
- 33 自然観察の服装
- 34 自然観察の持ち物
- 35 自然観察の注意事項
- 36 自然観察の楽しみ
- 37 自然観察の準備
- 38 自然観察の場所
- 39 自然観察の時間
- 40 自然観察の服装
- 41 自然観察の持ち物
- 42 自然観察の注意事項
- 43 自然観察の楽しみ
- 44 自然観察の準備
- 45 自然観察の場所
- 46 自然観察の時間
- 47 自然観察の服装
- 48 自然観察の持ち物
- 49 自然観察の注意事項
- 50 自然観察の楽しみ
- 51 自然観察の準備
- 52 自然観察の場所
- 53 自然観察の時間
- 54 自然観察の服装
- 55 自然観察の持ち物
- 56 自然観察の注意事項
- 57 自然観察の楽しみ
- 58 自然観察の準備
- 59 自然観察の場所
- 60 自然観察の時間
- 61 自然観察の服装
- 62 自然観察の持ち物
- 63 自然観察の注意事項
- 64 自然観察の楽しみ
- 65 自然観察の準備
- 66 自然観察の場所
- 67 自然観察の時間
- 68 自然観察の服装
- 69 自然観察の持ち物
- 70 自然観察の注意事項
- 71 自然観察の楽しみ
- 72 自然観察の準備
- 73 自然観察の場所
- 74 自然観察の時間
- 75 自然観察の服装
- 76 自然観察の持ち物
- 77 自然観察の注意事項
- 78 自然観察の楽しみ
- 79 自然観察の準備
- 80 自然観察の場所
- 81 自然観察の時間
- 82 自然観察の服装
- 83 自然観察の持ち物
- 84 自然観察の注意事項
- 85 自然観察の楽しみ
- 86 自然観察の準備
- 87 自然観察の場所
- 88 自然観察の時間
- 89 自然観察の服装
- 90 自然観察の持ち物
- 91 自然観察の注意事項
- 92 自然観察の楽しみ
- 93 自然観察の準備
- 94 自然観察の場所
- 95 自然観察の時間
- 96 自然観察の服装
- 97 自然観察の持ち物
- 98 自然観察の注意事項
- 99 自然観察の楽しみ
- 100 自然観察の準備
- 101 自然観察の場所
- 102 自然観察の時間
- 103 自然観察の服装
- 104 自然観察の持ち物
- 105 自然観察の注意事項




たろやまの郷で自然観察を  
楽しむためのお手伝い小冊子。  
季節の代表的な生きものを紹介。

●配布場所：たろやまの郷内掲示板  
都市計画課

みんなで地域づくりセンター  
たろやまの郷へのアクセスはうらめん➔

たろやまの郷へのアクセス



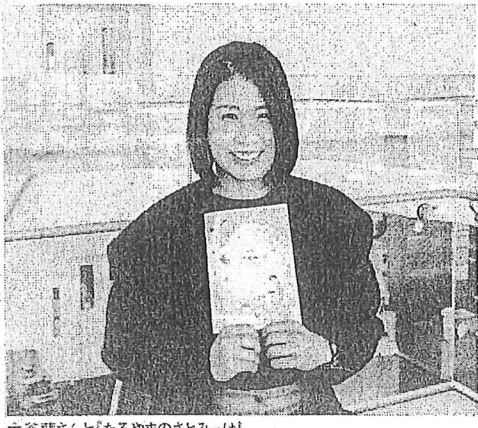
-  千葉県四街道市栗山85
-  栗山小学校から香取神社方面へ700m P有
-  JR四街道駅北口から千葉内陸バス「千代田団地行」で「馬洗」下車徒歩10分

この人

# 「たろやまのさとみつけ」

## を編集

### 大谷 蘭さん(四街道市在住)



大谷蘭さんと「たろやまのさとみつけ」

自然が大好き  
生き物の知識も豊富  
根っからの生き物好きの大谷さん。ネコ4イモムシに関する知識

は、専門家にも引けを取らないほどだ。

自然が大好きで、以前は野鳥を中心とした自然保護団体に所属し、福岡県の「油山市民の森」で自然観察指導員をしていた経歴を持つ。

四街道でも、やはり活躍の場は自然の中。特に市内栗山にある里山「たろやまの郷」がそのフィールドだ。理事を務める「NPO法人四街道メダカの会」で保全活動に尽力する他、学校支援員として年4回、小学生の自然観察会を案内している。

自ら発見する喜びが「さとみつけ」

そんな大谷さんが編集したガイドブック「たろやまのさとみつけ」(たろやま会発行)。「ここに掲載された四季折々の植物や生き物の貴重な写真は、すべて同地で撮影されたものだ。身近な里山に、これほど多様な生命が息づいていることに驚かされる。

自ら新しい何かを発見する喜びを体験してほしいと、ポイントを押さえつつ、あえて説明は少なめ。文字も写真も大きく見やすくし、撮影秘話などのエピソードも楽しい。

仕事と家事、育児の

合間を縫い、初めての編集作業に奮闘した約半年間。「力を貸してくれた皆さんや、手に取ってくれた皆さんの喜ぶ顔が見たい一心だ」と振り返る。その

かいあつて、たろやまの郷の魅力がぎゅっと詰まった冊子に。手に取れば、早速、新鮮な驚きを探しに行きたくなりそう。 (ゆるり)

「たろやまのさとみつけ」配布場所/  
\*たろやまの郷内掲示板  
(四街道市栗山85)  
\*都市計画課(四街道市鹿渡無番地)  
\*みんなで地域づくりセンター  
(四街道市大日395)  
冊子に関する問い合わせ  
TEL 043-421-2263  
四街道市都市部都市計画課

地域新聞社主催 読者限定! 特別割引席のご案内

九ホ学の時  
この星を眺めてみよ



事業報告書類

ハニー&アップル

コラボ四街道まとめ

団体名	ハニー&アップル
事業名	みんなの学食プロジェクト

事業部門	地域づくり部門
担当課・関係課	

事業内容	事業の詳細な内容（実施日、参加者数、会場、スケジュール等）や市、関係機関との役割分担や関わり等について記載。資料が多い場合は別途添付。
	<p>市内に中高生の居場所がないこと、また子どもの貧困やそれに伴う孤食の問題が四街道市にもみられることがわかりました。子どもを取り巻く困難な状況を少しでも改善するきっかけとして、</p> <p>平成30年度11月から、中高生を対象として居場所と食事を提供する活動を始めました。</p> <p>（みんなの学食「りんごとはちみつ」概要添付）</p> <p>① みんなの学食の開催</p> <p>毎月1回程度低額の料金で食事をとれる「みんなの学食」を開催し簡単かつどの世代もと一緒に食べる事が出来るカレーを提供し、みんなと一緒に食事をとることとします。</p> <p>②居場所の提供</p> <p>上記①と前後して、会場を開放し、自由に過ごすことができる場を提供します。</p> <p>宿題をしたり、子供たちと一緒に遊んだりおしゃべりなど多世代でのコミュニケーションを図ったりできる場としていきます。</p> <p>【開催】</p> <p>16時～18時      フリータイム</p> <p>18時～19時      食事タイム（みんなと一緒に）</p> <p>19時～20時30分      フリータイム</p> <p>*安全に配慮しながらも、孤独を感じやすい夕方・夜の時間に「居場所」となるために、20時30分まで場を開放します。</p> <p>【料金】（40食程度）</p> <p>小学生100円    中高生200円    大人400円    幼児無料</p> <p>*食事をとらない人は無料</p>

事業内容変更	軽微なものを除き、当初予定していた事業の内容に変更があった場合は、その内容と理由を記載
	<p>① みんなの学食の令和2年3月回については、新型コロナウイルス感染症対策として、開催中止としました。</p> <p>② 当初計画していたおしゃべり会については、ハニー&amp;アップル内の一部スタッフにより、別事業として実施することとなりました。</p>

事業費総額	予算	210,000円	決算	320,390円
補助金額	予算	167,000円	決算	167,000円



事業成果

事業実施した結果、得られた成果や効果を、数字等を交えて記載

① 令和元年度開催予定12回のうち11回開催しました。

【実績】

合計来店者数 260人（毎月ごとの内訳は下記のとおり）

月	食数	来店者数内訳					スタッフ数内訳		
		幼児	小学生	中高生	大人	合計	大人	高校生	合計
4	40	—	2	1	9	12	8		8
5	40	—	3	4	13	20	7		7
6	35	3	3	15	7	28	7		7
7	40	1	6	7	18	32	7	1	8
8	40	1	7	5	19	32	7	1	8
9	40	1	5	2	16	24	8	2	10
10	40	2	5	4	21	32	6	3	9
11	40	1	1	1	12	15	8	3	11
12	40	3	10	1	18	32	9	—	9
1	40	2	2	2	14	20	7	2	9
2	40	2	2	1	8	13	8	1	9
3	新型コロナウイルス感染症対策のために中止								
合計		16	46	43	155	260	82	13	95

高校生3名がボランティアスタッフとして7月から参加してくれました。高校生の視点を取り入れることで、活動（メニュー、プロジェクターの活用やディスプレイ等）に幅が出ました。

- ② 市内外の方や商店等活動を応援してくださる方々から、カレールー、野菜、米、果物など多くの食材を寄付していただく事が出来ました。
- ③ プロジェクターを活用して音楽や映像を流すことにより、主に高校生の関心や興味のある事柄に、来店している幅広い年齢層の人々が触れ事が出来ました。
- ④ 帰宅途中の近隣高校生や仕事帰りの大人、毎月来店してくれる親子など、毎月工夫を凝らしたカレーライスや別メニューのドリンクを楽しみにしてくれていました。
- ⑤ 食事の提供時にメニューの説明をすることで、直接感想を聞かせてもらえるためコミュニケーションがはかれました。（利用者の苦手な食材がカレーの具として使われていた時などは、食べた感想などを聞かせてもらえました）

事業の課題、担当課との関わり等

事業全体を通して、改善点や今後の課題、担当課との関わり等について記載。

- ① 近隣高校等に開催についてのチラシを配布したところ、校内に掲示していただくなど、生徒に向けての周知に協力していただきました。
- ② 四街道市みんなで地域づくりセンターに広報やチラシ配布の協力をしていただきました。
- ③ 大人スタッフは調理担当、高校生はサービスを担当しました。
- ④ 他団体から「みんなの学食」の活動について関心を持っていただくことが出来ました。
- ⑤ 今後「みんなの学食」を必要としている人に向けてどのように発信したら良いか、再度検討したいと思います。
- ⑥ 開催日である第1火曜日は、年間を通して休日になる日が多いため

	次年度から第3火曜日に変更を検討します。また、開催時間についても高校生の下校時間に合わせて、見直しを検討します。
--	----------------------------------------------------------

今後の事業展開	成果や課題等を踏まえた今後の事業展開について記載
	<p>① 開催日を第1火曜日に設定しましたが、学校の休みと重なることが度々あり、事業の目的を効果的に果たすために、令和2年度は毎月第3火曜日に変更して開催します。</p> <p>② 現在活動している高校生スタッフの姿を見て新たに高校1年生が活動に参加してくれることになりました。高校生がスタッフとして参加してくれることで、中高生にとってさらに利用しやすい居場所づくりができるものと期待しています。</p>

担当課のふりかえり	(            課)

みんなで地域づくり推進委員会のコメント	
---------------------	--

みんなで地域づくり事業収支決算書

事業名	みんなの学食プロジェクト
団体名	ハニー&アップル

【収入】

(単位：円)

項目	予算額	決算額	差額	具体的な内容
市補助金	167,000	167,000	0	
食事代	93,000	152,890	59,890	カレー 86,600 円 タピオカ、チョコレートドリンク 66,290 円
寄付金	6,700	500	▲6,200	
収入合計	266,700	320,390	53,690	

【支出】

(単位：円)

項目	予算額	決算額	差額	具体的な内容	
対象経費	委託料	24,500	24,500	0	デザイン委託 ・チラシデザイン 20,000 円 案内用看板制作委託 ・4,500 円
	需用費	58,200	24,868	33,332	消耗品等 ・インク 2,980 円 (2 セット) ・ドリンク用フリーザーパック 888 円 ・ドリンク用カップ 8,750 円 ・ストロー 1,880 円 ・持ち帰り用ビニール袋 440 円 印刷代 ・チラシ 9,930 円 (2,800 部)
	使用料	20,000	22,000	▲2,000	会場使用料 22,000 円 (2,000 円×11 回)
	備品購入費	70,000	67,803	2,197	プロジェクター プロジェクター 50,910 円 ケーブル等 (AV アダプター、HDMI 分配器、AC アダプター、UCB ハブ、LAN ケーブル等) 16,893 円
	食糧費	60,000	75,139	▲15,139	ドリンク材料費 タピオカ 47,853 円 ココア、黒糖、牛乳、氷等 27,286 円
	小計	260,700	214,310	18,390	
対象外経費	食糧費	34,000	32,472	1,528	野菜、米等
	雑費	0	6,608	▲6,608	駐車場代、寄付等
	報償費	0	67,000	▲67,000	スタッフ報償費
	小計	34,000	106,080	▲72,080	
支出合計	294,000	320,390	▲53,690		

## みんなの学食「りんごとはちみつ」概要

この度、私たち「ハニー&アップル」は、日替わりシェフの店さくらそうを会場に、だれでも自由に過ごせて、食事ができる場「みんなの学食 りんごとはちみつ」を始めました。

ハニー&アップルは、四街道市みんなで地域づくりセンターが主催した「居場所をつくろう！」の講座参加者が中心となり立ち上がった団体です。

講座の中で、市内に中高生の居場所がないこと、また子どもの貧困やそれに伴う孤食の問題が四街道市にもみられることがわかりました。子どもを取り巻く困難な状況を少しでも改善するきっかけとして、昨年11月から、中高校生を対象として居場所と食事を提供する活動を始めました。

主な対象を中高生にしていますが、大人の方にもぜひお越しただけたらと思います。

### 目 的

- ・ 困難な状況にある中高生が安心して食事ができる場を提供する。
- ・ 放課後、無料で気軽に過ごせる居場所を提供する。
- ・ 親や教師以外の大人と交流することで、子どもの人的資源、人とのつながりをつくる。

### 開催概要

開催日時	毎月第1火曜日(16:00~20:30)
開催場所	日替わりシェフの店さくらそう(四街道市鹿渡933-136)
食事時間	18:00~
食事代	中学生・高校生 200円、大人 400円

▷みんなの学食は、中高生だけではなくどなたでもお越しいただけます。

▷小学生以下のおひさんは保護者、又はお友だちなどお知り合ひの方と一緒にお願いします。

▷オープン時間中、出入りは自由です。(食事は18:00~です)

▷運営はボランティアで行っています。食材(米、野菜、肉等)のご提供、大歓迎です。またスタッフも募集しています。

団体名	ハニー&アップル
代表者	伊藤恭子
連絡先	四街道市みんなで地域づくりセンター TEL 043-304-7065